

平成30年度

学 生 募 集 要 項

〔 推 薦 入 試 〕
〔 A O 入 試 〕



宮 崎 大 学

宮崎大学の教育理念とアドミッション・ポリシー(入学者受入・選抜の方針)

教育理念

宮崎大学は、「世界を視野に地域から始めよう」のスローガンのもとに、人類の英知の結晶としての学術・文化に関する知的遺産の継承と発展、深奥なる学理の探究、地球環境の保全と学際的な生命科学の創造を目指し、変動する社会の多様な要請に応え得る人材を育成することを教育の理念として掲げています。本学では、これらの理念を具現化するために、以下の教育目標を掲げ充実した教育に取り組んでいます。

1. 人間性の教育
 - ・高い倫理性と責任感を育むとともに、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養する。
 - ・生命や環境保全の科学に親しむとともに、広く自然や社会に触れ、現場から学ぶ態度を育成する。
2. 社会性・国際性の教育
 - ・社会の多様な要請に対応して、社会の発展に積極的に貢献できる課題解決能力を育成する。
 - ・柔軟で論理的な思考力を育成するとともに、日本語による記述・発表の能力や外国語によるコミュニケーション能力を育成する。
3. 専門性の教育
 - ・それぞれの専門分野に関する基礎的知識を修得し、それらを応用できる能力を育成するとともに、専門分野への深い興味を育み、課題探求及び解決能力、自発的に学習する能力を育成する。
 - ・新たな知の創造につながる専門教育を実施し、総合的判断力を育成する。

アドミッション・ポリシー(入学者受入・選抜の方針)

宮崎大学では、ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)及びカリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)に掲げた、社会の発展に積極的に貢献する人材の養成を目指しています。そのため、以下の「求める学生像」に示す、知識・技能、思考力、及び意欲を持った人を国内外から積極的に受け入れます。

【求める学生像】

1. 本学の教育理念に共感し、入学後の学修に充分対応できる基礎的な知識・技能を有する人
2. 身に付けた知識・技能を応用して問題を解決する上で必要となる思考力を有する人
3. 身に付けた知識・技能及び思考力を地域社会や国際社会において自ら積極的に活用し、その発展に貢献する意欲を持った人

【入学者選抜の基本方針】

1. 求める学生像に沿って、多様な入試方法により多面的・総合的に選抜する。
2. 客観的で透明性のある方法によって、公平に選抜する。

宮崎大学ではこのような教育理念を各学部、学科、課程において達成するために、それぞれアドミッション・ポリシー(入学者受入・選抜の方針)を掲げています。

したがって、本学に入学を希望する人は、基礎教育及び学部専門教育の内容や各学部、学科、課程のアドミッション・ポリシーを十分に理解した上で志願してください。

平成30年度 入学試験日程（推薦入試・AO入試）

		大学入試センター試験を課さない推薦入試	大学入試センター試験を課す推薦入試	A O 入 試
学 部 ・ 学 科 等	教育学部	学校教育課程 小中一貫教育コース 中学校主免専攻(専門学科枠) 教職実践基礎コース (宮崎県教員希望枠) 発達支援教育コース 特別支援教育専攻	学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主免専攻 発達支援教育コース 子ども理解専攻	学校教育課程 小中一貫教育コース 中学校主免専攻 (音楽・美術・保健体育 ・家庭・英語)
	医学部	看護学科	医学科（一般推薦）	
	工学部	環境応用化学科 社会環境システム工学科 環境ロボティクス学科 機械設計システム工学科 電子物理工学科 電気システム工学科 情報システム工学科	電子物理工学科 電気システム工学科 情報システム工学科	
	農学部	植物生産環境科学科 森林緑地環境科学科 応用生物科学科 海洋生物環境科学科 畜産草地科学科		
	地域資源 創成学部	地域資源創成学科 (普通・専門)		
出 願 期 間	全学部 平成29年11月1日(水)～ 平成29年11月6日(月)	教育学部・工学部 平成29年12月15日(金)～ 平成29年12月19日(火) 医学部 平成29年12月1日(金)～ 平成29年12月5日(火)	平成29年11月1日(水)～ 平成29年11月6日(月)	
試 験 日	教育学部・医学部・ 工学部・農学部 平成29年11月21日(火)～ 平成29年11月22日(水) 地域資源創成学部 平成29年11月23日(木)～ 平成29年11月24日(金) (注) 受験者数によっては、11月21日(火) 又は11月23日(木)の1日で 終了する場合があります。	教育学部・工学部 平成30年1月19日(金) 医学部 平成29年12月26日(火)	第1次選考 平成29年11月25日(土)～ 平成29年11月26日(日) 第2次選考 平成30年1月20日(土)～ 平成30年1月21日(日) (注) いずれの選考も出願状況により 試験日が確定します。いずれかの 1日、又は2日間で実施となります。	
合 格 者 発 表	平成29年12月1日(金)	平成30年2月7日(水)	(第1次選考)平成29年12月1日(金) (最終)平成30年2月7日(水)	
入 学 手 続 期 間	平成30年2月14日(水)17時まで(必着) (原則郵送)			

※大学入試センター試験の試験期日は、平成30年1月13日(土)・14日(日)となっています。

目 次

I. 学部のアドミッション・ポリシー	1
II. 推薦入試	
1. 募集人員等	13
2. 対象者及び推薦人員	14
3. 出願手続	17
4. 受験票の交付	19
5. 推薦入試方法等	19
6. 受験上の注意事項	27
7. 一般入試への出願及び受験	28
8. 本学の一般入試を志望する者の手続	28
9. 合格者発表	28
III. A O入試	
1. 募集人員等	29
2. 対象者	29
3. 出願手続	29
4. 受験票の交付	31
5. A O入試方法等	31
6. 受験上の注意事項	37
7. 一般入試・推薦入試への出願及び受験	38
8. 本学の一般入試を志望する者の手続	38
9. 合格者発表	38
IV. 共通事項	
1. 障害等のある入学志願者の事前相談	39
2. 入学手続等	40
V. 入学手続に関する注意事項	43
VI. 個人情報の取扱いについて	43
VII. 入学試験成績の情報開示	44
VIII. 入学志願票の記入要領及び記入例	45
IX. 統計資料	51
X. 試験場配置図	52

※学生寄宿舍への入居を希望する者は「IV-2. 入学手続等」をよく読んでください。

I. 学部のアドミッション・ポリシー

1. 教育学部

(1) 課程・コースのアドミッション・ポリシー

課程・コース	課程・コースのアドミッション・ポリシー
小 中 一 貫 教 育 コ ー ス	<p>小中一貫教育コースでは、児童・生徒の長期にわたる発達過程を見通す見識、児童・生徒への深い理解力、教員としての使命感、責任感、教育的愛情を身につけた教員の養成を目標としています。</p>
	<p>1. 求める学生像</p> <p>小中一貫教育コースでは、小学校・中学校・小中一貫校の教員等を目指す教職への意欲にあふれ、教職に必要なたしかな知識・技能(以下、「知識・技能」)について研鑽を積み、教育課題を解決するために必要な思考力(以下、「思考力」)と児童・生徒への適確な指導に資する表現力(以下、「表現力」)と学校現場で生きる協調性(以下、「協調性」)をもち、それらをしっかりと身につけるべく一層の努力を怠らない人材を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <p>1) 一般入試(前期日程・後期日程) 高等学校までに修得した基礎的学力と得意とする教科についての大学の学習で必要となる発展的学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、「知識・技能」、「思考力」、「表現力」を総合的に判断します。</p> <p>2-1) 推薦入試(小学校主免専攻) 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を課した上で、面接、推薦書・調査書・志望理由書によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では教職への意欲、「協調性」について評価します。 推薦書、調査書、志望理由書では教職への意欲、「知識・技能」、「思考力」、「表現力」、「協調性」について評価します。</p> <p>2-2) 推薦入試(中学校主免専攻, 専門学科枠) 高等学校専門学科等での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を課さないかわりに、面接、小論文、推薦書・調査書・志望理由書によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では教職への意欲、「知識・技能」、「協調性」について評価します。 小論文では教職への意欲、「思考力」、「表現力」について評価します。 推薦書、調査書、志望理由書では教職への意欲、「知識・技能」、「思考力」、「表現力」、「協調性」について評価します。</p> <p>3) A0 入試(中学校主免専攻) 得意とする教科を有し、入学後もその教科を専修とすることを希望する者に対し、大学入試センター試験を課した上で、面接、各教科の定める個別審査、自己推薦書、志望理由書、実技・活動等に関する調書によって多様な能力を総合的に判断します。 大学入試センター試験では「知識・技能」について評価します。 面接、自己推薦書、志望理由書及び実技・活動等に関する調書では教職への意欲、「知識・技能」、「思考力」「表現力」、「協調性」について評価します。 各教科の定める個別審査では、「知識・技能」、「思考力」、「表現力」、「協調性」について評価します。</p> <p>4) 帰国子女入試 帰国子女に対し、小論文、面接によって「知識・技能」、「思考力」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲を評価します。</p> <p>5) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、小論文、面接によって「知識・技能」、「思考力」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲を評価します。</p>
<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>高等学校で履修した国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの科目に関する基礎学力を十分に身につけると同時に、「協調性」など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身につけておくことが望まれます。</p>	
教 職 実 践 基 礎 コ ー ス	<p>教職実践基礎コースでは、幼児期から青年期にわたる長期の発達過程を見通した上で、幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校に共通する教職に関する高い専門性を持ち、現代の教育課題に多角的に対応できる教員の養成を目標としています。</p> <p>1. 求める学生像</p> <p>教職実践基礎コースでは幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校における教育に対して熱意を持って取り組み、教科全般に関わる基礎学力、また、得意とする分野の学力や技能(以下、「知識・技能」)を有し、これらを教育実践に活用しようとする教職への意欲を持っている人、現代の教育課題に対応するために、幅広い学問や文化を意欲的に学び、広い視野を身につけ、それを幼児教育・初等教育・中学校教育・小中一貫教育に生かす思考力・表現力(以下、「思考力・表現力」)を持っている人、また、学び続ける喜びを幼児・児童・生徒と共有したいと考え、宮崎県をはじめとする地域に根ざす学校づくりの有力な一員となる協調性(以下、「協調性」)を持っている人を求めています。</p>

課程・コース	課程・コースのアドミッション・ポリシー		
教職実践基礎コース		<p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <p>1) 一般入試（前期日程） 高等学校までに修得した基礎的学力と得意とする教科についての大学の学習で必要となる発展的学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、「知識・技能」、「思考力」、「表現力」を総合的に判断します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接、小論文及び出願書類（推薦書、調査書及び志望理由書）によって、宮崎県の教員をめざし、地域に根ざす学校づくりの有力な一員となる意欲と、現代の教育課題に対応するために他者と協力して課題解決しようとする意欲を持つ人を受け入れるために、多様な能力を総合的に判断します。 面接では「協調性」、教職への意欲について評価します。 小論文では「思考力」、「表現力」について評価します。 推薦書・調査書では「知識・技能」、「思考力」、「協調性」、教職への意欲について評価します。 志望理由書では「表現力」、教職への意欲について評価します。</p> <p>3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、小論文、面接によって「思考力」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲を評価します。</p> <p>4) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、小論文、面接によって「思考力」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲を評価します。</p> <p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>高等学校で履修した国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの科目に関する基礎学力を十分に身につけると同時に、「思考力」、「表現力」、「協調性」など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身につけておくことが望まれます。</p>	
	学校教育課程		<p>子ども理解専攻では、幼児期から児童思春期にわたる子どもの心理、発達過程を見通す深い見識と理解力、教員としての使命感、責任感、教育的愛情を身につけた教員の養成を目的としています。</p> <p>1. 求める学生像</p> <p>子ども理解専攻では、幼児期から児童思春期の子どもに対する意欲にあふれ、（教職に必要なたしか知識・技能（以下、「知識・技能」））について研鑽を積み、（目標に向けて強い意志と行動を貫くことができる思考力・主体性（以下、「思考力・主体性」））と（児童・生徒への適確な指導に資する表現力（以下、「表現力」））と（学校現場で子どもと保護者と信頼関係を築き、同僚と協力して問題に取り組んでいける対人関係能力（以下、「協調性」））を身につけるための努力を怠らない人材を求めています。</p> <p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <p>1) 一般入試（前期日程） 高等学校までに修得した基礎的学力と得意とする教科についての大学の学習で必要となる発展的学力について、大学入試センター試験、個別学力検査、面接によって、「知識・技能」、「思考力・主体性」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲を総合的に判断します。 大学入試センター試験と個別学力検査では、「知識・技能」、「思考力」について評価します。 面接では、「知識・技能」、「思考力・主体性」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲について評価します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を課した上で、面接、推薦書・調査書・志望理由書によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では「思考力・主体性」、「協調性」、「表現力」、教職への意欲について評価します。 推薦書・調査書では「知識・技能」、教職への意欲について評価します。 志望理由書では「表現力」、教職への意欲について評価します。</p> <p>3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、小論文、面接によって「思考力・主体性」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲を評価します。</p> <p>4) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、小論文、面接によって「思考力・主体性」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲を評価します。</p> <p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>高等学校で履修した国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの科目に関する基礎学力を十分身につけておくことが望まれます。また、「思考力・主体性」、「協調性」など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人コミュニケーション能力を身につけておくことが望まれます。</p>
		特別支援教育専攻	<p>特別支援教育専攻では、障害のある児童・生徒それぞれの発達や特徴を捉える見識と深い児童理解力を持って初等教育を施すことができ、その上で障害に基づく種々の課題や困難を改善または克服するのに必要な知識、技能、態度及び習慣を養うための指導ができる特別支援学校教員の養成を目的としています。</p> <p>1. 求める学生像</p> <p>特別支援教育専攻では「特別支援教育に対して意欲（以下、「特別支援教育への意欲」）」を持って取り組み、「特別支援教育に関する学修に十分対応できる基礎学力や基礎技能（以下、「知識・技能」）」を有し、「目標達成に向けて強い意志と行動を貫くことができる思考力・表現力（以下、「思考力・表現力」）」、</p>

課程・コース	課程・コースのアドミッション・ポリシー	
学 校 教 育 課 程	発 達 支 援 教 育 コ ー ス	<p>「愛情豊かに他者を思いやることができる協調性（以下、「協調性」）」を持つ人、また、「学習を通して獲得した知識・技能・行動力を教育現場に還元するための粘り強く創意工夫する力や向上心（以下、「創意工夫・向上心」）」を有している人材を求めています。</p>
		<p>2. 入学者選抜の基本方針</p>
		<p>1) 一般入試（前期日程） 高等学校までに修得した基礎的学力と得意とする教科についての大学の学習で必要となる発展的学力について、大学入試センター試験、個別学力検査、面接によって、「特別支援教育への意欲」、「知識・技能」、「思考力・表現力」、「協調性」、「創意工夫・向上心」を総合的に判断します。 大学入試センター試験及び個別学力検査では、「知識・技能」、「思考力・表現力」について評価します。 面接では、「特別支援教育への意欲」、「思考力・表現力」、「協調性」、「創意工夫・向上心」について評価します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を課さず、小論文、面接、推薦書・調査書によって多様な能力を総合的に判断します。 小論文では、「知識・技能」、「思考力・表現力」について評価します。 面接では、「特別支援教育への意欲」、「思考力・表現力」、「協調性」、「創意工夫・向上心」について評価します。 推薦書・調査書では、「特別支援教育への意欲」、「知識・技能」について評価します。</p> <p>3) 帰国子女入試 帰国子女に対して、小論文、面接によって、「特別支援教育への意欲」、「知識・技能」、「思考力・表現力」、「協調性」、「創意工夫・向上心」を総合的に判断します。</p> <p>4) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対して、小論文、面接によって、「特別支援教育への意欲」、「知識・技能」、「思考力・表現力」、「協調性」、「創意工夫・向上心」を総合的に判断します。</p>
<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p>		
<p>高等学校で履修した国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの科目に関する基礎的学力を十分身につけておくことが望まれます。また、「協調性」など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身につけておくことが望まれます。</p>		

2. 医 学 部

(1) 学科のアドミッション・ポリシー

学科	学科のアドミッション・ポリシー
医 学 科	<p>医学科では、臨床医、医学研究者、あるいは医学教育者として宮崎の地域医療に貢献し国際的にも活躍できる、優れた人材の育成を目標としています。</p>
	<p>1. 求める学生像</p> <p>医学科では、自ら課題を見つけ解決しようとする探求心と意欲、行動力（主体性・学問への関心）を有し、医学と医療を学ぶために必要な幅広い基礎学力・応用能力（知識・技能）と他者と協調・共感できる豊かな人間性（協調性・思考力・表現力）を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる人材を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目及び英語など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・技能、思考力、表現力を総合的に評価します。 面接では主体性、協調性、学問への関心について評価します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験及び面接によって多様な能力を総合的に判断します。 高等学校までに修得した基礎的な学力など理数系科目及び英語など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験によって知識・技能を評価します。 面接では主体性、協調性、学問への関心について評価します。</p> <p>3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、日本留学試験、個別学力検査によって、知識・技能、思考力、表現力、主体性、協調性、学問への関心を評価します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>高校で履修した科目に関する基礎学力について十分な深達度を得ていることが望まれる。さらに、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれる。</p>
看護学科	<p>看護学科では、看護による健康への支援を通して、社会と地域の保健医療に貢献できる人材の育成を目標としています。</p>
	<p>1. 求める学生像</p> <p>看護学科では看護職者になろうという目的意識と看護学を学ぶために必要な基礎学力（知識・技能）を有し、生活している人々の身体的・精神的健康への関心（学問への関心）、自ら課題を見つけ解決しようとする意欲と行動力（主体性・多様性）、他者への共感と円滑なコミュニケーション能力（協調性・思考力・表現力）を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる学習意欲の高い人材を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・技能、思考力、表現力を総合的に評価します。 面接では主体性、協調性・思考力・表現力、学問への関心について評価します。 後期日程で課す小論文では提示する課題を読解し、自己の見解をまとめ論理的に表現できるかどうかを評価します。それによって、思考力、表現力、主体性・多様性について評価します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除するかわりに、面接及び小論文によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では主体性、協調性・思考力・表現力、学問への関心について評価します。 小論文では提示する課題についてまとめ、それを論理的に表現できるかどうかを評価します。それによって、思考力、表現力、主体性・多様性について評価します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>入試科目として課しているかどうかにかかわらず国語、地歴・公民、数学、理科、外国語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性、コミュニケーション能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。 また、国際化の時代にあって、海外から看護の知識を導入し、わが国の看護の成果を発信していくためにも国際語である英語を学習する必要がある。</p>

3. 工 学 部

(1) 学科のアドミッション・ポリシー

学科	学科のアドミッション・ポリシー
環境応用 化学科	<p>1. 求める学生像</p> <p>環境応用化学科では、企業等で実践力を有する工学専門職としてグローバルに活躍できる技術者の育成を教育の目標に掲げ、学士課程を通じて以下の資質や能力を身に付けた人材の育成を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 自然との共生、環境との調和および社会への貢献の視点を持ち、社会的責任感と科学的倫理観をもって物事を判断する能力 2) 産業界で技術者として活躍するために必要な工学および化学の基礎を習得し、実験や観察の結果を考察でき、問題解決に柔軟に応用する能力 3) 自主的、継続的な学習により知識や技術を高め、それらを課題の探求と解決に生かし、正しく明瞭にまとめ伝える能力 <p>そこで、環境応用化学科では、化学、化学工学および生物工学を基礎として、地球環境や生態系を保全する物質・資源・エネルギーの生産及び循環プロセスに関する技術の創造と発展に貢献できる人材の育成を目的とした教育研究を行います。</p> <p>したがって、本学科では次のような人材を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 化学の知識・技術・考え方を真剣に学び、それを将来、応用化学あるいは環境・生物工学などの分野で活かしたいという情熱を持っている人（主体性） 2) 化学及び環境に関連する自然科学に対して幅広い興味や好奇心を持っている人（学問への関心） 3) 実験や観察が好きで科学現象について考え、それを表現できる人（思考力、表現力） 4) 数学、化学を含む理科及び語学の基礎学力を有し、それを身近な問題に応用できる人（知識・理解）
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校で修得した基礎的な学力と環境応用化学を学習する上で重要な理数系科目、および英語の学力について、大学入試センター試験と個別学力試験によって、知識・理解および思考力を総合的に評価します。 2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、面接と小論文によって自然科学や語学の基礎学力ならびに環境応用化学への強い学修意欲および資質を総合的に判断します。 面接では、知識・理解、主体性、および学問への関心について評価します。 小論文では、限られた時間に与えられた課題に対する自分の考えをまとめ、それを論理的に表現できるかどうかを調査します。それによって、思考力と表現力を評価します。 3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、および日本留学試験によって自然科学や語学の基礎学力ならびに環境応用化学への強い学修意欲および日本語によるコミュニケーション能力を総合的に判断します。 面接では、知識・理解、主体性、および学問への関心について評価します。 小論文では、限られた時間に与えられた課題に対する自分の考えをまとめ、それを論理的に表現できるかどうかを調査します。それによって、思考力と表現力を評価します。 日本留学生試験では、知識・理解および思考力について評価します。
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>高等学校または高等専門学校等で履修すべき教科・科目について偏りなく履修しておくことが必要です。特に、化学、数学および物理については、それらの基本的な知識と理解を有し、さらに教科書レベルの標準的な内容を修得しておくことを求めます。さらに、協調性およびコミュニケーション能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。</p>
	社会環境 システム 工 学 科
<p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力を総合的に評価します。 2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接及び、小論文及び出願書類によって多様な能力を総合的に判断します。 	

学科	学科のアドミッション・ポリシー
社会環境システム工学科	<p>面接では主体性、学問への関心について評価します。 小論文では表現力について評価します。 出願書類では知識・理解、主体性、学問への関心について審査します。</p> <p>3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心の評価します。</p> <p>3. 入学までに身に付けてほしいこと センター試験で課す入試科目として課しているかどうかに関わらず、数学、物理、化学など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、協調性、コミュニケーション能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれます。</p>
環境ロボティクス学科	<p>1. 求める学生像 環境ロボティクス学科では、技術者としての倫理観、問題解決能力、専門分野で通用するコミュニケーション能力を身に付けた人材の育成を目標としています。 そこで、環境ロボティクス学科では、機械・電気電子・化学およびコンピュータ等の先端技術に関連する分野、ならびにロボット、介護・福祉機器、環境制御などの設計開発と生活環境や自然環境の改善に関連する学問への関心がある人材を求めています。 また、実験や観察において深く考察する思考力と、その結果の表現力、数学、理科、英語に関する知識・理解、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元できる主体性がある人材を求めています。</p> <p>2. 入学者選抜の基本方針 1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力、を総合的に評価します。 2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接及び小論文によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では主体性、学問への関心について評価します。 小論文では、限られた時間に自分の主張をまとめ、それを論理的に表現できるかどうかを調査します。それによって、表現力を評価します。 3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心の評価します。</p> <p>3. 入学までに身に付けてほしいこと センター試験で課す数学、物理、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に着けると同時に、協調性、コミュニケーション能力など、大学での学習効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれます。</p>
機械設計システム工学科	<p>1. 求める学生像 機械設計システム工学科では、機械と自然との調和を考える能力、社会秩序や環境保護に対する技術者の責務を考える能力、資源とエネルギーの有効利用を考える能力、機械工学に関連する問題解決能力と創造力、アイデアを実現できるデザイン能力およびそれを説明するコミュニケーション能力を身に付けた人材の育成を目標としています。 そこで、機械設計システム工学科では「人と自然に優しいものづくり」に関連する技術の開発や研究に対して熱意を持って取り組み、数学及び理科の基礎的な知識・理解を有し、コミュニケーション能力を身に付ける上で必要となる語学能力と学問への関心を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる意欲溢れる人材を求めています。</p> <p>2. 入学者選抜の基本方針 1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎科目と理数系科目など大学の学習で必要となる学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力を総合的に評価します。 2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、小論文、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 小論文では、思考力、表現力を評価します。 面接では知識・理解、主体性、学問への関心について評価します。 書類審査では機械工学を学ぶ者として必要な資質・態度を審査します。それによって、知識・理解、表現力、主体性、学問への関心について評価します。 3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、小論文、面接、日本留学試験及び書類審査によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心の評価します。</p> <p>3. 入学までに身に付けてほしいこと 数学、物理・化学、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、協調性、自主的・継続的に学習する能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。</p>

学科	学科のアドミッション・ポリシー
電子物理 工 学 科	<p>1. 求める学生像</p> <p>電子物理工学科では、人間の文化、社会、自然、及び専攻する学問分野の知識・技能、社会の一員としての意識をもった人間性、社会性、国際性、課題を発見し、情報や知識を複眼的、倫理的に分析して、その課題を解決する力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p> <p>そこで、電子物理工学科では、太陽光発電やエネルギー計測といった最先端の産業分野に対して熱意を持って取り組み、専門技術者として必要な基礎および専門的な知識・技能を有し、課題を見出し解決に向けて対応できる思考力と自ら学習計画を立て、主体的に学ぶ力を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる課題の解決へ向けて積極的に行動できる人材を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力を総合的に評価します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を課さない場合は、口頭試問を含む面接、志望理由書及び調査書・推薦書によって多様な能力を総合的に判断します。また、大学入試センター試験を課す場合は、面接、志望理由書及び調査書・推薦書及び小論文によって多様な能力を総合的に判断します。 志望理由書では、自然科学や科学技術への関心度を審査します。それによって、表現力、学問への関心について評価します。 調査書・推薦書では、高校生活の諸活動を審査します。それによって、主体性について評価します。 小論文では、限られた時間に自分の主張をまとめ、それを論理的に表現できるかどうかを審査します。それによって、表現力、主体性を評価します。</p> <p>3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心の評価します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>センター試験で課す物理、数学、化学など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、表現力、コミュニケーション能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。</p>
	<p>1. 求める学生像</p> <p>電気システム工学科では、技術者にとって必要となる数学を含めた自然科学の知識、電気エネルギーおよび情報通信分野に関する専門技術と実践能力、課題探求能力、課題解決能力およびデザイン能力を有し、多様なグローバル社会の要請に応え得る能力、技術者に求められるコミュニケーション能力、技術者に求められる倫理観、課題や問題に対して、自律的、継続的に取り組むことができる能力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p> <p>そこで、電気システム工学科では、電気電子工学分野に対して熱意を持って取り組み、国際的な視野を有し、常に自分が何をもちて社会に貢献できるかを問い続ける柔軟な考え方や数学、理科、英語などの基礎的な学力、基礎的な表現力を持つ人、また、問題解決へ向けて、自分から積極的に目標と計画を立て、強い意志をもって持続的に取り組むことができる人を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目を中心に大学の学習で必要となる専門科目を理解出来る基礎学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、一般入試では評価・確認が困難と思われる特徴的な資質・能力や学習意欲が備わっている人を受け入れます。 大学入試センター試験を課す推薦入試では、理数系科目を中心に、電気システム工学科で学ぶ専門科目を理解出来る基礎学力が備わっていることに加えて、センター試験、面接、小論文、調査書及び志望理由書によって多様な能力を総合的に判断します。 センター試験では、知識・理解について評価します。 面接では、表現力、主体性、学問への関心について評価します。 小論文では、思考力、表現力、主体性、学問への関心について評価します。 調査書では、知識・理解を調査します。 志望理由書では、表現力、学問への関心について評価します。 それによって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心について評価します。 大学入試センター試験を課さない推薦入試では、科学技術に対する強い興味と学習意欲を持っていることに加えて、面接、小論文、調査書及び志望理由書によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では、知識・理解、表現力、主体性、学問への関心について評価します。 小論文では、思考力、表現力、主体性、学問への関心について評価します。 調査書では、知識・理解を調査します。 志望理由書では、表現力、学問への関心について評価します。 それによって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心について評価します。</p>

学科	学科のアドミッション・ポリシー
電気システム工学科	<p>3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、技術者に必要な能力に加えて国際性や語学力、日本で研鑽する熱意、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心を評価します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと センター試験で課す数学、物理など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、履修すべき教科・科目について偏りなく履修しておくこと、電気システム工学分野の中核的科目である数学と物理については、それらの基本的な知識と理解を有し、さらに教科書レベルの標準的な問題を解くことができることなど、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。</p>
情報システム工学科	<p>1. 求める学生像 情報システム工学科では、社会に対する責任感、問題解決能力、専門分野で通用する高度なコミュニケーション能力を身に付けた人材の育成を目標としています。 そこで、情報システム工学科では、情報科学技術を通じ、人類の幸福と社会の発展に貢献しようと熱意を持って取り組み、公式を覚えるのではなく公式そのものを導出できる知識・技能を有し、情報工学の学習に必要な数学、理科、英語についての基礎学力を持ち、明確な目標を持って継続的に自己学習を続けられる主体性を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる情熱に溢れる人材を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p>
	<p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力を総合的に評価します。</p> <p>2) 推薦入試 a) センター試験を課さない推薦入試 工業系高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接及び小論文によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では、知識・理解、思考力、主体性、学問への関心について評価します。 小論文では、限られた時間に自分の主張をまとめ、それを論理的に表現できるかどうかを調査します。それによって、表現力を評価します。</p> <p>b) センター試験を課す推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、面接及び小論文によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では、主体性、学問への関心について評価します。 小論文では、限られた時間に自分の主張をまとめ、それを論理的に表現できるかどうかを調査します。それによって、表現力を評価します。</p> <p>3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心を評価します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと センター試験で課す数学、物理、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。</p>

4. 農 学 部

(1) 学科のアドミッション・ポリシー

学科	学科のアドミッション・ポリシー
植物生産環境科学科	<p>植物生産環境科学科では、農学に関する基礎知識、植物生産、生産環境、並びに環境調和型農業に関する基礎的・応用的知識、専門分野に関する国際的視点、社会貢献力および指導力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p>
	<p>1. 求める学生像</p>
	<p>植物生産環境科学科では、安全・高品質な農・園芸作物の安定供給に対して熱意を持って取り組み（主体性）、自然現象に対する強い知的好奇心と自然環境に配慮した農業生産に対する関心（学問への関心）を有する人、実験や観察において深く考察（思考力）し、その結果を表現する力（表現力）、大学での学修の基盤となる幅広い知識や理科の基礎的学力（知識・理解）を有する人、また、学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を地域・社会に還元することができ（協調性）、国際的な視野と責任感を有する人を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p>
	<p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では主体性、協調性、学問への関心について評価します。 書類審査では推薦書、調査書、志望理由書を審査します。それによって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心を評価します。</p> <p>3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、面接と小論文、出願書類によって、思考力、表現力、主体性、協調性、学問への関心、知識・理解を評価します。</p> <p>4) 社会人入試 社会人に対し、面接と書類審査によって、思考力、表現力、主体性、協調性、学問への関心、知識・理解を評価します。</p> <p>5) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験、出願書類によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、協調性、学問への関心を評価します。</p>
<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p>	
<p>数学、理科、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性、協調性、コミュニケーション能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。</p>	
森林緑地環境科学科	<p>森林緑地環境科学科では、森林・緑地の機能に関する基礎的・応用的知識と国際的視点や課題解決能力、自然環境や国土保全及び水資源利用に関する基礎的・応用的知識、樹木・菌類及び非生物材料の特性に関する基礎的・応用的知識、多機能型森林緑地管理に関する基礎的・応用的知識と計画・実行力、環境と調和した材料の開発力と緑化の実践力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p>
	<p>1. 求める学生像</p>
	<p>森林緑地環境科学科では、森林・緑地の環境保全と生態系の修復、森林資源や水資源の循環的・安定的利用に対して熱意を持って取り組み（主体性）、森林・緑地に関連する自然科学と社会現象に幅広い興味や関心（学問への関心）を有し、実験や観察において深く考察（思考力）し、その結果を表現する力（表現力）、大学での学修の基盤となる幅広い知識や理科に関する基礎学力（知識・理解）を有する人、また、学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会の一員として地域・世界に還元する情熱と責任感を持つ（協調性）人材を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p>
	<p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では主体性、協調性、学問への関心について評価します。 書類審査では推薦書、調査書、志望理由書を審査します。それによって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心を評価します。</p> <p>3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、面接と小論文によって、表現力、主体性、協調性、学問への関心を評価します。</p>

学科	学科のアドミッション・ポリシー
森林緑地 環境科 学 科	<p>4) 社会人入試 社会人に対し、面接と書類審査によって、主体性、協調性、学問への関心、知識・理解、思考力を評価します。</p> <p>5) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、協調性、学問への関心を評価します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p>
	<p>理科、数学、外国語など、高等学校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、勉学において自ら興味を深め課題を発見する姿勢、多様な意見を聞きながら課題解決を図る態度を身に付けておくことが望ましい。</p>
応用生物 科 学 科	<p>応用生物科学科では、農学に関する基礎知識、数学および自然科学に関する基礎知識、応用生物学に関する知識、技術者の社会的責任、制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p>
	<p>1. 求める学生像</p>
	<p>応用生物科学科ではバイオサイエンス分野の先端技術の獲得、食品機能の探求や環境保全に対して熱意を持って取り組み（主体性）、動植物や微生物の機能や利用に対する深い関心（学問への関心）を有し、実験結果や観察内容を深く考察し（思考力）、その結果を表現する力（表現力）、大学での学修の基盤となる化学や生物、英語に関する学力を有する人（知識・理解）、また、学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を応用生物学分野の技術者として社会に還元することのできる人材（協調性）を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p>
	<p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と大学の学習で必要となる理科についての発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では主体性、知識・理解、思考力、学問への関心、協調性について評価します。 書類審査では調査書、推薦書、志望理由書を審査します。それによって、主体性、知識・理解、学問への関心、表現力、協調性について評価します。</p> <p>3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、小論文、面接によって、思考力、表現力、主体性、知識・理解、学問への関心、協調性を評価します。</p> <p>4) 社会人入試 社会人に対し、面接、書類審査によって、知識・理解、主体性、協調性、思考力、表現力を評価します。</p> <p>5) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、日本留学試験、小論文、面接によって、知識・理解、思考力、表現力、協調性、主体性を評価します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p>
<p>理科（特に化学・生物）、数学、英語、国語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性、協調性など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。</p>	
海洋生物 環境学 科	<p>海洋生物環境学科では、農学に関する基礎知識、水圏に関する専門的基礎知識と専門的知識を応用できる能力、環境と食糧生産の諸問題に関する分析力、環境と食糧生産の諸問題の解決に貢献する力、地域社会や国際社会で活躍できる能力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p>
	<p>1. 求める学生像</p>
	<p>海洋生物環境学科では、海洋生物や水圏環境の保全、水域生物の生産・利活用、水族の生理機能に深い興味（学問への関心）を有し、海洋環境と生物生産の諸問題の解決に熱意をもって取り組み（主体性）、実験や観察において深く考察（思考力）し、その結果を表現する力（表現力）、大学での学修の基盤となる幅広い知識や自然科学に関する基礎学力（知識・理解）を有する人、また、学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会の一員として地域・世界に還元することのできる（協調性）人材を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p>
	<p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力を総合的に評価します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では、表現力、主体性、学問への関心および思考力を評価します。 書類審査では推薦書、調査書、志望理由書を審査します。それによって、知識・理解を評価します。</p> <p>3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、面接と小論文によって、表現力、主体性、学問への関心、思考力および協調性を評価します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p>

学科	学科のアドミッション・ポリシー
海洋生物 環境学科	<p>4) 社会人入試 社会人に対し、面接と書類審査によって、表現力、主体性、学問への関心、思考力および協調性を評価します。</p> <p>5) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験、出願書類によって、表現力、主体性、知識・理解、学問への関心、思考力および協調性を評価します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性、協調性、表現力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。</p>
	畜産草地 科学科
<p>1. 求める学生像</p> <p>畜産草地科学科では、資源循環、環境の保全、家畜の福祉などに配慮した持続的な畜産業の構築に対して熱意（主体性）を持って取り組み、動植物に対する幅広い興味や関心（学問への関心）を有し、実験や観察において深く考察する能力（思考力）を有し、その結果を表現する力（表現力）、大学での学修の基盤となる幅広い知識や生物、化学に関する基礎学力（知識・理解）を有する人、また、学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会の一員として地域・世界に還元することのできる資質（協調性）を有する人材を求めています。</p>	
<p>2. 入学者選抜の基本方針</p>	
<p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。</p>	
<p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では主体性、協調性、学問への関心について評価します。 書類審査では推薦書、調査書、志望理由書を審査します。それによって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心を評価します。</p>	
<p>3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、面接と小論文によって、表現力、主体性、協調性、学問への関心を評価します。</p> <p>4) 社会人入試 社会人に対し、面接と書類審査によって、主体性、協調性、学問への関心、知識・理解、思考力を評価します。</p> <p>5) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験、出願書類によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、協調性、学問への関心を評価します。</p>	
<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>生物、化学、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性、協調性など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。</p>	
獣医学科	<p>獣医学科では、農学に関する基礎知識、獣医専門知識、獣医的倫理観、獣医的応用・実践・開拓力、地域・国際社会への貢献能力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p>
	<p>1. 求める学生像</p> <p>獣医学科では大学での学修の基盤となる幅広い知識や理科、数学、語学に関する基礎学力を持ち（知識・理解）、自然科学に対する幅広い興味や関心を有し（学問への関心）、ヒトと動物の健康ならびに福祉の向上に必要な高度な専門知識の修得に対して主体的に取り組むことができる（主体性）人材を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p>
	<p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解を総合的に評価します。</p>
	<p>2) 帰国子女入試 帰国子女に対し、面接、小論文によって、知識・理解、主体性、学問への関心を評価します。</p>
	<p>3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文によって、知識・理解、主体性、学問への関心を評価します。</p>
<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>試験で課す理科、数学、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性、協調性など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。</p>	

5. 地域資源創成学部

(1) 学科のアドミッション・ポリシー

学 科	学科のアドミッション・ポリシー
地域資源 創成学科	<p>地域資源創成学部では、地域資源を活用し新たな価値を創成する企画力・実践力の育成を図り、地域の活性化に不可欠なイノベーション創出に向けたマネジメントの知識と、地域資源の価値を複眼的に捉える視野を持った人材を養成し、実社会で即戦力として活躍できる人材の輩出を目標としています。</p>
	<p>1. 求める学生像</p>
	<p>地域資源創成学部では地域振興に対して熱意（学問への関心）を持って取り組み、社会科学および自然科学に対する基礎学力（知識・理解）を有し、コミュニケーション能力・表現力と思考力・判断力を持つ人、また学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる強い意思を持った人材を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p>
	<p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と社会科学および自然科学系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、コミュニケーション能力、学問への関心を総合的に評価します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、小論文、面接、書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 小論文、面接では、思考力、表現力、主体性、コミュニケーション能力、学問への関心について評価し、書類審査では、知識・理解、主体性を審査します。</p> <p>3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、小論文、面接によって、思考力、表現力、主体性、コミュニケーション能力、学問への関心の評価し、書類審査によって知識・理解を審査します。</p> <p>4) 社会人入試 社会人に対し、面接によって、主体性、コミュニケーション能力、学問への関心の評価し、書類審査によって知識・理解を審査します。</p> <p>5) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、日本留学試験、小論文、面接によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、コミュニケーション能力、学問への関心を総合的に評価します。</p>
<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p>	
<p>入試科目として課しているかにかかわらず、国語、地歴・公民、数学、理科、外国語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、協調性、主体性など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。</p>	

II. 推薦入試

1. 募集人員等

学 部	学 科 ・ 課 程	コ ー ス ・ 専 攻 等	募 集 人 員	大 学 入 試 以 外 の 試 験	
教 育 学 部	学 校 教 育 課 程	小 中 一 貫 教 育 コ ー ス 小 学 校 主 免 専 攻	12	課 ず	
		小 中 一 貫 教 育 コ ー ス 中 学 校 主 免 専 攻 (専 攻 科 枠)	技 術	2	課 さ ない
			技 術 以 外 の 教 科	1	課 さ ない
		教 職 実 践 基 礎 コ ー ス (宮 崎 県 教 員 希 望 枠)	5	課 さ ない	
		発 達 支 援 教 育 コ ー ス 子 ど も 理 解 専 攻	3	課 ず	
		発 達 支 援 教 育 コ ー ス 特 別 支 援 教 育 専 攻	3	課 さ ない	
小 計		26			
医 学 部	医 学 科	一般推薦	20	課 ず	
	看 護 学 科		15	課 さ ない	
	小 計		35		
工 学 部	環 境 応 用 化 学 科		12	課 さ ない	
	社 会 環 境 シ ス テ ム 工 学 科		10		
	環 境 ロ ボ テ ィ ク ス 学 科		10		
	機 械 設 計 シ ス テ ム 工 学 科		11		
	電 子 物 理 工 学 科		5		
	電 気 シ ス テ ム 工 学 科		5		
	情 報 シ ス テ ム 工 学 科		5	課 ず	
	電 子 物 理 工 学 科		7		
	電 気 シ ス テ ム 工 学 科		5		
	情 報 シ ス テ ム 工 学 科		6		
小 計		76			
農 学 部	植 物 生 産 環 境 科 学 科		10	課 さ ない	
	森 林 緑 地 環 境 科 学 科		10		
	応 用 生 物 科 学 科		11		
	海 洋 生 物 環 境 学 科		4		
	畜 産 草 地 科 学 科		10		
	小 計		45		
地 域 資 源 創 成 学 部	地 域 資 源 創 成 学 科	普 通 教 育 有 限 公 司 以 外 の 専 攻 科 枠	10	課 さ ない	
		職 業 教 育 を 主 と す る 専 攻 科 枠 又 は 総 合 学 科	5	課 さ ない	
	小 計		15		
合 計			197		

- 備考
1. 教育学部学校教育課程小中一貫教育コース中学校主免専攻（技術以外の教科）において、選択できる教科は、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭及び英語です。
 2. 医学部医学科〔地域枠推薦入試〕、〔地域特別枠推薦入試〕に関する募集要項は、別冊となっています。
 3. 推薦入試の入学者が募集人員に満たない場合は、教育学部、医学部、農学部は前期日程、工学部及び地域資源創成学部は後期日程の募集人員にその満たない人数を加えます。なお、教育学部学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻及び中学校主免専攻は、それぞれ【2/3型入試】に加えます。

2. 対象者及び推薦人員

推薦入試は、合格した場合必ず入学することを確約できる者で、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者を対象としています。
 高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。

学部（学科・課程等）別の出願要件及び推薦人員等は次のとおりです。

教育学部

出願要件の共通事項

- ア. (1) 学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻、教職実践基礎コース、発達支援教育コース子ども理解専攻及び特別支援教育専攻
 高等学校を平成28年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者
 (2) 学校教育課程小中一貫教育コース中学校主免専攻（専門学科枠）
 高等学校の農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報、福祉、体育、音楽及び美術に関する学科・課程（総合学科を含む）を平成28年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者
 イ. 出身高等学校長が責任をもって推薦できる者
 ウ. 合格した場合は入学することを確約できる者

各コースの出願要件

- (1) 学校教育課程小中一貫教育コース：小学校主免専攻
 ・小学校教育に対する熱意を有し、教員としての適性があり、学習成績全体の評定平均値が4.0以上の者
 ・推薦人員は、各高等学校から3人以内とします。
- (2) 学校教育課程小中一貫教育コース：中学校主免専攻（専門学科枠）
 ・中学校及び小学校教育に対する熱意を有し、教員としての適性があり、学習成績の概評がA段階に属する者
 ・出願時に選択した教科の教育に対する熱意を有する者
 ・入学後は、小中一貫教育コース中学校主免専攻において出願時に選択した教科を専修とすることを確約できる者
 ・推薦人員は、下記のとおりとします。
 1. 「技術」は、各高等学校からの制限はありません。
 2. 「技術以外の教科」は、技術を除く全教科をあわせて、各高等学校から2人以内とします。
- (3) 学校教育課程教職実践基礎コース：（宮崎県教員希望枠）
 ・小学校教育に対する熱意を有し、教員としての適性があり、学習成績概評がA段階に属し、卒業後は、本学大学院教育学研究科に進学することを志望し、宮崎県の小学校の教員となることを希望している者
 ・推薦人員は、各高等学校から2人以内とします。
- (4) 学校教育課程発達支援教育コース：子ども理解専攻
 ・小学校教育及び幼稚園教育に対する熱意を有し、教員としての適性があり、学習成績全体の評定平均値が4.0以上の者
 ・推薦人員は、各高等学校から2人以内とします。
- (5) 学校教育課程発達支援教育コース：特別支援教育専攻
 ・特別支援教育に対する熱意を有し、教員としての適性があり、学習成績の概評がA段階に属する者
 ・推薦人員は、各高等学校から2人以内とします。

医学部

各学科の出願要件

- (1) 医学科：
 ・高等学校を平成30年3月に卒業見込みの者
 ・高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属し、医師として活躍し得る能力・適性を有する者（Ⓐに該当する者については、調査書にⒶと標示してください。）で、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者
 ・合格した場合は入学することを確約できる者
 ・推薦人員は、各高等学校から2人以内とします。
- (2) 看護学科：
 ・高等学校を平成30年3月に卒業見込みの者
 ・高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属し、看護師・保健師として活躍し得る能力・適性を有する者（Ⓐに該当する者については、調査書にⒶと標示してください。）で、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者
 ・合格した場合は入学することを確約できる者
 ・推薦人員は、各高等学校から2人以内とします。

工 学 部

(I) センター試験を課さない推薦入試

出願要件の共通事項

- ア. 高等学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者
ただし、電子物理工学科と電気システム工学科及び情報システム工学科については、高等学校の職業教育を主とする専門学科(総合学科は除く)を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- イ. 志望学科を専攻する意志が強く、人物・能力・素質・適性に特に優れ、各学科が示す以下の要件を満たしていると認められ、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者

学 科	要 件
環境応用化学科, 社会環境システム工学科, 機械設計システム工学科, 電子物理工学科, 電気システム工学科, 情報システム工学科	学習成績全体の評定平均値が4.0以上, あるいは理科又は数学の評定平均値が4.3以上
環境ロボティクス学科	学習成績全体の評定平均値が3.8以上, あるいは理科又は数学の評定平均値が4.0以上

- ウ. 合格した場合は入学することを確約できる者
- エ. 各学科への推薦人員は、次のとおりとします。

学 科	推 薦 人 員
環境応用化学科, 社会環境システム工学科, 環境ロボティクス学科, 機械設計システム工学科, 電子物理工学科(※), 電気システム工学科(※)	各高等学校から2人以内
情報システム工学科(※)	各高等学校から3人以内

※出願要件の共通事項ア. に注意してください。

(II) センター試験を課す推薦入試

出願要件の共通事項

- ア. 高等学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- イ. 各学科が示す以下の要件を満たしていると認められる者

学 科	要 件
電子物理工学科 電気システム工学科	志望学科を専攻する意志が強く、人物・能力・素質・適性に特に優れ、学習成績全体の評定平均値が3.8以上, あるいは理科の評定平均値が4.0以上であり、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者
情報システム工学科	志望学科を専攻する意志が強く、人物・能力・素質・適性に特に優れ、数学と理科の学習成績が特に優秀であり、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者

- ウ. 合格した場合は入学することを確約できる者
- エ. 各学科への推薦人員に各高等学校からの人数制限はありません。

農 学 部

出願要件の共通事項

- ア. 学習成績概評がA段階に属し、人物・能力・素質・適性等に優れ、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者
- イ. 合格した場合は入学することを確約できる者

各学科の出願要件

- (1) 植物生産環境科学科：
 - ・高等学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者
 - ・推薦人員は、各高等学校から2人以内とします。
- (2) 森林緑地環境科学科：
 - ・「普通科」、「総合学科」、「農林業及び工業（情報系、土木系）に関連のある学科」を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者
 - ・推薦人員は、各高等学校の対象となる学科から2人以内とします。
- (3) 応用生物科学科：
 - ・「普通科」、「総合学科」、「農林水産業（食品関係も含む）及び工業（生物工学系）に関連のある学科」を平成28年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者
 - ・化学と生物に強い興味を持っている者
 - ・推薦人員は、各高等学校から2人以内とします。
- (4) 海洋生物環境科学科：
 - ・高等学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者
 - ・海洋生物に強い興味を持っている者
 - ・推薦人員は、各高等学校から2人以内とします。
- (5) 畜産草地科学科：
 - ・高等学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者
 - ・生物学に強い興味を持っている者
 - ・推薦人員は、下記のとおりとします。
 - 1. 「農業に関連のある学科（農業に関連のある科目を25単位以上履修する総合学科を含む）」は、各学科から2人以内とします。
 - 2. 「農業に関連のない学科（農業に関連のある科目を25単位以上履修しない総合学科を含む）」は、これらの学科全体の中から1人とします。

※出願要件に疑問がある場合は、事前に農学部教務・学生支援係（0985-58-3834）へ照会してください。なお、森林緑地環境科学科、応用生物科学科及び畜産草地科学科の出願に際して履修状況の要件を確認される場合は、事前に志願者の履修課程表を添えて文書で照会してください。

地域資源創成学部

出願要件

- (1) 普通科あるいはこれに準ずる学科
 - ア. 平成28年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者
 - イ. 学習成績概評がA段階に属する者のうち人物・能力・素質・適正等が特に優秀で、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者
 - ウ. 合格した場合は入学することを確約できる者推薦人員は、各高等学校等から2人以内とします。
- (2) 職業教育を主とする専門学科又は総合学科
 - ア. 平成28年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者
 - イ. 高等学校等の各学科・課程等での最終年次における成績が上位10%以内の者のうち、人物・能力・素質・適正等が特に優秀で出身高等学校長が責任を持って推薦できる者
 - ウ. 合格した場合は入学することを確約できる者推薦人員は、各高等学校等から2人以内とします。

※出願要件に疑問がある場合は、志願者の履修課程表を添えて文書で地域資源創成学部教務・学生支援係（0985-58-7847）へ照会してください。

3. 出願手続

(1) 出願書類 (出願書類の記入は、黒のボールペン (又はペン) を使用してください。
 なお、本学の求める出願書類以外は選抜に利用しませんので、提出しないでください。)

出 願 書 類 等	摘 要
入 学 志 願 票	<p>本要項に添付の用紙を使用してください。また、記入にあたっては、「Ⅷ. 入学志願票の記入要領及び記入例」(45～50ページ)を参照してください。</p> <p style="text-align: center;">成績請求票について (センター試験を課す推薦入試志願者のみ)</p> <p>大学入試センター試験を課す学部・学科等の志願者にあつては、所定の欄に「推薦平成30センター試験成績請求票 (国公立推薦入試用)」を貼付することとしていますが、出願期間が各学部で異なりますので、以下に注意してください。</p> <p>①教育学部, 工学部 出願時に貼付してください。出願時に貼付できない場合は必ず電話で学生支援部入試課 (0985-58-7138) に連絡してください。</p> <p>②医学部 大学入試センターからの受験票等の発送は本学の出願受付締切後 (12月上旬～中旬予定) になることから、受験票送付時に併せて「成績請求票貼付台紙」を送付しますので、それに貼付し、12月19日(火)までに宮崎大学入試課へ到着するよう簡易書留速達で郵送してください。 期日までに送付できない場合は必ず電話で学生支援部入試課(0985-58-7138)に連絡してください。</p>
受 験 票 ・ 写 真 票	<p>上記志願票の該当箇所に必要事項を記入し、それぞれに同一の写真を貼付してください。写真は、正面上半身無帽 (縦4cm×横3cm) で出願以前6か月以内に撮影したものを使用してください。志願票から切り離さないでください。</p>
検 定 料 振 込 証 明 書 貼 付 台 紙	<p>下記検定料を納入後、銀行窓口において受領する「C票 検定料振込証明書」を上記志願票の台紙に貼付してください。志願票から切り離さないでください。</p>
検 定 料 (17,000円)	<p>本要項添付の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。</p>
調 査 書	<p>文部科学省所定の様式により、出身高等学校長が作成し、厳封したもの。 (注) 「指導上参考となる諸事項」及び「備考」の欄は狭いので、そこに書けない具体的事項 (人物、性格について本人の特性をよく表現するような事実) については、推薦書の「人物」の欄に記入してください。</p>
推 薦 書	<p>本学所定の用紙を用いて、推薦する出身高等学校長が作成し、厳封したもの。 (注1) 綴込みのもので教育学部と農学部、医学部、工学部及び地域資源創成学部はそれぞれ別用紙です。記載にあたっては、裏面の「記入上の注意」をよく読んでください。 特に、医学部、農学部植物生産環境科学科、応用生物科学科及び地域資源創成学部については裏面の「記入上の注意」の指示内容に注意してください。 (注2) 工学部の様式は、センター試験を「課す推薦入試用」と「課さない推薦入試用」で、それぞれ別用紙です。 (注3) 手書きで作成する場合は、必ず本要項綴込みのものを使用してください。 (注4) パソコンで作成する場合は、次の本学ホームページに掲載している様式 (Word) を使用し、必ずホームページ上で指定するサイズで提出してください。 (http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/point/recommen/recommend)</p>
志 望 理 由 書	<p>教育学部学校教育課程小中一貫教育コース 小学校主免専攻, 中学校主免専攻, 教職実践基礎コース, 発達支援教育コース, 子ども理解専攻, 工学部, 農学部, 地域資源創成学部</p> <p>本学所定の用紙 (綴込みのもの) に、本人自筆で記入してください。 (注1) センター試験を「課す推薦入試用」と「課さない推薦入試用」で、それぞれ別用紙です。</p>
自 己 推 薦 書 (医学部医学科)	<p>本学所定の用紙 (綴込みのもの) に、本人自筆で記入してください。</p>
受 験 票 等 送 付 用 封 筒	<p>本要項に添付の封筒に切手 (362円) を貼り、志願者の住所、氏名、郵便番号を記入してください。</p>
あ て 名 票	<p>本要項に添付のあて名票用紙に、合格通知書及び入学手続書類を受け取る際の住所、氏名、郵便番号を記入してください。</p>

調査書の記載についての注意事項 (出身高等学校長の皆様へ)

●学部共通事項

- ① 「2. 各教科・科目等の学習の記録」欄の「修得単位数の計」は必ず記入してください。
- ② 学習成績概評A段階に属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀で、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者について、「4. 学習成績概評」欄に④と標示した場合には、「9. 備考」の欄にその理由を明示してください。
- ③ 調査書中「5. 出欠の記録」欄に、欠席日数を記載した場合、必ず備考欄に欠席理由を記入してください。
- ④ 「校長名」及び「記載責任者職氏名」は必ず明記し、押印 (写しは不可) してください。

(2) 出願書類の受付期間等

- | | |
|--|----------------------------|
| I. 全学部共通 (Ⅱ・Ⅲを除く) | — 平成29年11月1日(水)～11月6日(月) |
| Ⅱ. 教育学部学校教育課程小中一貫教育コース小学校主専攻・発達支援教育コース子ども理解専攻
工学部電子物理工学科・電気システム工学科・情報システム工学科(センター試験を課す推薦入試) | — 平成29年12月15日(金)～12月19日(火) |
| Ⅲ. 医学部医学科 | — 平成29年12月1日(金)～12月5日(火) |

- ア. 持参の場合の受付時間は、土曜日、日曜日及び祝日を除く8時30分から17時までです。
イ. 郵送する場合は、必ず書留速達とし、入試課へ**期間内必着(17時必着)**です。
なお、**期間内に到着しない場合は受理しませんので郵便事情を考慮して十分余裕をもって発送してください。**

(3) 出 願 先

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地 宮崎大学学生支援部入試課 電 話：(0985) 58-7138 FAX：(0985) 58-2865

(4) 出 願 方 法

- ア. 出願書類等は個人ごとに本要項に添付している「入学願書在中」の封筒を使用し、出身高等学校長の責任において高等学校が一括し、持参又は郵送(書留速達)してください。
イ. 国公立大学・学部(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。)への推薦入試の出願は、大学入試センター試験を課す、課さないに関係なく、一つの大学の一つの学科等に限りませす。
ただし、本学の工学部のセンター試験を課さない推薦入試で不合格となった場合には、センター試験を課す推薦入試において、本学の同一学部・同一学科へのみ出願ができます。

(5) 注 意 事 項

- ア. 出願書類に不備がある場合には受理しないことがありますので十分注意してください。
イ. 出願書類受付後の志望学部、志望学科・課程(コース・専攻)等の変更は認めません。
ウ. 受付後の出願書類等は返還しません。
エ. 出願手続及び入学手続において不正な行為があった場合は、入学を取り消すことがあります。
オ. 検定料が振り込まれていない場合又は、検定料が振り込まれていても振込済の「C票 検定料振込証明書」が検定料振込証明書貼付台紙に貼付されていない場合は出願を受理しません。
カ. 振込済の検定料は、以下の場合を除き、返還いたしません。
(1) 検定料を振り込んだが本学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合
(2) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

返還請求の方法

検定料返還請求願(様式は問いません。返還請求理由、氏名(フリガナ)、現住所、電話番号、検定料返還先銀行口座情報(銀行名、支店名、口座種別、口座番号、口座名義(カタカナ))を明記したものを作成し、 必ず「C票 検定料振込証明書」を添付のうえ、以下宛へ平成30年3月31日(必着)までに、速やかに郵送してください。 平成30年4月1日以降に申し出られた場合、返還に応じることはできませんのでご了承ください。
--

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地 宮崎大学財務部財務課出納係 電話：(0985) 58-7122 (土曜日・日曜日及び祝日を除く)
--

4. 受験票の交付

受験票は、出願受付期間終了後本人あてに郵送します。以下の期日までに届かない者は、至急学生支援部入試課へ照会してください。

- I. センター試験を課さない推薦入試 … 平成29年11月17日(金)
- II. センター試験を課す推薦入試 … { 1) 教育学部・工学部 … 平成30年 1月 9日(火)
2) 医学部 … 平成29年12月14日(木)

5. 推薦入試方法等

大学入試センター試験を課す推薦入試における志望する学部(学科・課程等)が指定した教科・科目は「(3)各学部(学科・課程等)の選抜方法等(20~24ページ)」のとおりです。受験する際は以下の注意事項に十分留意し、志望する学部(学科・課程等)の指定した受験教科・科目を確実に受験してください。

大学入試センター試験で受験を要する教科・科目に関する注意事項

大学入試センター試験を課す推薦入試を実施する学部(学科・課程等)は、平成30年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目を指定しています。志望する学部(学科・課程等)が指定した教科・科目(第1解答科目の指定を含む)を一つでも受験していないことが判明した場合、合否判定の対象とはなりませんので、注意してください。

(1) 大学入試センター試験に係る注意事項

I. 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目について

地理歴史・公民及び理科の基礎を付していない科目を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取扱います。

また、得点の採用方法等については、「(3)各学部(学科・課程等)の選抜方法等」の志望する学部(学科・課程等)の「大学入試センター試験の成績の取扱いについての注意事項」で確認してください。

II. 成績の利用について

大学入試センター試験の成績は、すべての学科・課程において平成30年度のものに限り利用します。

(2) 教科・科目名の表記について

大学入試センター試験の教科・科目名は、次のように表記しています。

教科名	科目名
国語→国	『国語』→『国語』
地理歴史→地歴	『世界史A』→『世A』, 『世界史B』→『世B』, 『日本史A』→『日A』, 『日本史B』→『日B』, 『地理A』→『地理A』, 『地理B』→『地理B』
公民→公民	『現代社会』→『現社』, 『倫理』→『倫』, 『政治・経済』→『政経』, 『倫理, 政治・経済』→『倫・政経』
数学→数	『数学I』→『数I』, 『数学II』→『数II』, 『数学A』→『数A』, 『数学B』→『数B』, 『簿記・会計』→『簿』, 『情報関係基礎』→『情報』
理科→理	『物理基礎』→『物基』, 『化学基礎』→『化基』, 『生物基礎』→『生基』, 『地学基礎』→『地基』, 『物理』→『物』, 『化学』→『化』, 『生物』→『生』, 『地学』→『地学』
外国語→外	『英語』→『英』, 『ドイツ語』→『独』, 『フランス語』→『仏』, 『中国語』→『中』, 『韓国語』→『韓』

※理科の『基礎を付した科目』とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指し、『基礎を付していない科目』とは、物理、化学、生物、地学を指します。

(3) 各学部（学科・課程等）の選抜方法等

教育学部

(I) センター試験を課さない推薦入試

学校教育課程小中一貫教育コース中学校主免専攻（専門学科枠）

(1) 選抜方法

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、面接、小論文及び出願書類（出身高等学校長からの推薦書、調査書及び本人自筆の志望理由書）の結果を総合して選抜します。

(2) 選考方法

ア. 小論文……当日提示する課題について論述し、解答時間は90分とします。

イ. 面接……複数の教員で行い、高等学校で学習した内容及び出願時に選択した教科についての基礎的な口述試験を含み、専攻に関わる基礎能力及び適性等をみます。

なお、個人面接は1人10分から15分程度とします。

学校教育課程教職実践基礎コース（宮崎県教員希望枠）

(1) 選抜方法

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、面接、小論文及び出願書類（出身高等学校長からの推薦書、調査書及び本人自筆の志望理由書）の結果を総合して選抜します。なお、アドミッション・ポリシー等に則した選抜を実施するため、選抜は、宮崎県教育委員会の協力を得て実施します。

(2) 選考方法

ア. 小論文……当日提示する課題について論述し、解答時間は90分とします。

イ. 面接……複数の教員で行い、口述試験を含み、専攻に関わる基礎能力及び適性等をみます。

なお、個人面接（1人10分から15分程度）のほかに集団面接を実施します。

学校教育課程発達支援教育コース特別支援教育専攻

(1) 選抜方法

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、面接、小論文及び出願書類（出身高等学校長からの推薦書及び調査書）の結果を総合して選抜します。

(2) 選考方法

ア. 小論文……当日提示する課題について論述し、解答時間は90分とします。

イ. 面接……複数の教員で行い、口述試験を含み、専攻に関わる基礎能力及び適性等をみます。

なお、個人面接（1人10分～15分程度）のほかに集団面接、適性検査等を含みます。

・選考日時及び試験場

ア. 選考日時 平成29年11月21日（火）9時から（8時30分までに集合）
※受験者数によっては長時間にわたることもあります。

イ. 試験場 宮崎大学教育学部（木花キャンパス）
宮崎市学園木花台西1丁目1番地 TEL(0985)58-2891

ウ. 選考当日の携行品 ①宮崎大学入学試験受験票〔推薦入試用〕
②筆記用具

③上履き（特別支援教育専攻受験者のみ）

エ. その他 詳しくは、試験当日教育学部玄関前に掲示します。

(Ⅱ) センター試験を課す推薦入試

学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻, 学校教育課程発達支援教育コース子ども理解専攻

(1) 選抜方法

大学入試センター試験の成績, 面接及び出願書類(出身高等学校長からの推薦書, 調査書及び本人自筆の志望理由書)の結果を総合して選抜します。

課程・コース・専攻	大学入試センター試験で受験を要する教科・科目名	選考試験の種類
学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主免専攻	国 (国語) 数 (数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1) と (数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1) の2 地歴・公民 (世A,世B,日A,日B, 地理A,地理B,現社, 倫,政経,「倫・政経」) から1又は2)	面接
学校教育課程 発達支援教育コース 子ども理解専攻	理 (物, 化, 生, 地学, (物基, 化基, 生基, 地基から2) から1又は2) 外 (英(リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1) (5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目)	

(注☆) 次の①②③④よりいずれか選択

- ①地歴・公民から2科目と理科の基礎を付した科目2科目, ②地歴・公民から2科目と理科の基礎を付していない科目1科目,
- ③地歴・公民から1科目と理科の基礎を付した科目2科目と基礎を付していない科目1科目(同一名称科目(物基と物, 化基と化, 生基と生, 地基と地学)の選択は不可), ④地歴・公民から1科目と理科の基礎を付していない科目2科目

大学入試センター試験の成績の取扱いについての注意事項

- 1) 地歴・公民, 理科から3科目(理科の基礎を付した科目を選択する場合は4科目)を採用する際は, 次のとおり成績を採用します。

受験科目数			得点の採用方法
地歴 公民	理科		
	理科①	理科②	
2	2	1	『地歴・公民の第1解答科目』と『「地歴・公民の第2解答科目」, 「理科①の2科目」, 「理科②の1科目」のうち高得点の2つの成績』
	—	2	『地歴・公民の第1解答科目』と『理科②の第1解答科目』と『「地歴・公民の第2解答科目」, 「理科②の第2解答科目」のうち高得点の1科目』

※理科①は基礎を付した科目, 理科②は基礎を付していない科目

- 2) 英語は, 筆記試験, リスニングテストの両方を必ず受験してください(大学入試センターからリスニングテストを免除された者を除きます。)。筆記試験のみ受験した者(免除者以外)及びリスニングテストのみ受験した者は英語を受験しなかったものとして取り扱います。

(2) 選考方法

- ア. 学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻
面接…複数の教員で個人面接を行い, 口述試験を含み, 小学校教育に関わる関心及び適性等をみます。面接時間は1人10分程度とします。
- イ. 学校教育課程発達支援教育コース子ども理解専攻
面接…複数の教員で個人面接を行い, 口述試験を含み, 小学校教育及び幼稚園教育に関わる関心及び適性等をみます。面接時間は1人20分程度とします。

(3) 選考日時及び試験場

- ア. 選考日時 平成30年1月19日(金)9時から(8時30分までに集合)
※受験者数によっては長時間にわたることもあります。
- イ. 試験場 宮崎大学教育学部(木花キャンパス)
宮崎市学園木花台西1丁目1番地 TEL(0985)58-2891
- ウ. 選考当日の携行品 ①宮崎大学入学試験受験票〔推薦入試用〕
②大学入試センター試験受験票
③筆記用具
- エ. その他 詳しくは, 試験当日教育学部玄関前に掲示します。

医 学 部

(I) センター試験を課さない推薦入試

看護学科

(1) 選抜方法

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、出身高等学校長からの推薦書、調査書による書類審査、面接、小論文の結果を総合して選抜します。

(2) 選考方法

- ア. 小論文…小論文は、当日提示する課題について論述し、解答時間は90分とします。
- イ. 面接…複数の教員で個人面接を行い、看護師・保健師を目指す者としての適性等をみます。面接時間は1人15分程度とします。

(3) 選考日時及び試験場

- ア. 選考日時 平成29年11月21日(火) 9時から(8時30分までに集合)
- イ. 試験場 宮崎大学医学部(清武キャンパス)
宮崎市清武町木原5200番地 Tel(0985)85-8970
- ウ. 選考当日の携行品 ①宮崎大学入学試験受験票〔推薦入試用〕
②筆記用具
- エ. その他 詳しくは、試験当日医学部総合教育研究棟玄関前に掲示します。

(II) センター試験を課す推薦入試

医 学 科

(1) 選抜方法

出身高等学校長からの推薦書、調査書及び本人自筆の自己推薦書による書類審査、面接、大学入試センター試験の成績の結果を総合して選抜します。

学 科	大学入試センター試験で受験を要する教科・科目名	選考試験の種類
医 学 科	国 (国語) 地歴・公民 (世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,「倫・政経」) 数 (数I・数A)と(数II・数B,簿,情報から1)の2 理 (物,化,生)から2 外 (英(リスニングを含む)) (5教科7科目)	から1 面 接

大学入試センター試験の成績の取扱いについての注意事項

- 1) 地歴・公民から1科目を採用する際は、第1解答科目の成績を採用します。
- 2) 英語は、筆記試験、リスニングテストの両方を必ず受験してください(大学入試センターからリスニングテストを免除された者を除きます。)。筆記試験のみ受験した者(免除者以外)及びリスニングテストのみ受験した者は英語を受験しなかったものとして取り扱います。

(2) 選考方法

面接…複数の教員で個人面接を行い、医師を目指す者としての適性等をみます。面接時間は1人20~30分程度とします。

(3) 選考日時及び試験場

- ア. 選考日時 平成29年12月26日(火) 9時から(8時30分までに集合)
- イ. 試験場 宮崎大学医学部(清武キャンパス)
宮崎市清武町木原5200番地 Tel(0985)85-8970
- ウ. 選考当日の携行品 ①宮崎大学入学試験受験票〔推薦入試用〕
②大学入試センター試験受験票
- エ. その他 詳しくは、試験当日医学部講義実習棟玄関前に掲示します。

工 学 部

(I) センター試験を課さない推薦入試

全学科

(1) 選抜方法

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文、面接及び出願書類（出身高等学校長からの推薦書及び調査書並びに本人自筆の志望理由書）の結果を総合して選抜します。

(2) 選考方法

- ア. 小論文…小論文は、当日提示する課題について800字以内で論述し、解答時間は60分とします。
- イ. 面接…面接は複数の教員で個人面接を行い、高等学校等で学習した基礎的な内容についての口頭試問を含み、専門に関わる基礎能力及び適性等をみます。面接時間は1人20分程度とします。

(3) 選考日時及び試験場

- ア. 選考日時 平成29年11月21日（火）及び22日（水）9時から（8時30分までに集合）
※ただし、受験者数によっては11月21日（火）の一日で終了する場合があります。
出願期間終了後、受験票送付時に各人に選考日を通知します。
- イ. 試験場 宮崎大学工学部（木花キャンパス）
宮崎市学園木花台西1丁目1番地 TEL(0985)58-2874
- ウ. 選考当日の携行品 ①宮崎大学入学試験受験票〔推薦入試用〕
②筆記用具
- エ. その他 詳しくは、試験当日工学部玄関前に掲示します。

(II) センター試験を課す推薦入試

電子物理工学科、電気システム工学科、情報システム工学科

(1) 選抜方法

個別学力検査を免除し、大学入試センター試験、小論文、面接及び出願書類（出身高等学校長からの推薦書及び調査書並びに本人自筆の志望理由書）の結果を総合して選抜します。

(2) 選考方法

- ア. 小論文…小論文は、当日提示する課題について800字以内で論述し、解答時間は60分とします。
- イ. 面接…面接は複数の教員で個人面接を行い、高等学校等で学習した基礎的な内容についての口頭試問を含み、各学科のアドミッション・ポリシーで求められている者としての適性等をみます。面接時間は1人20分程度とします。

学 科	大学入試センター試験で受験を要する教科・科目名	選考試験の種類
電子物理工学科 電気システム工学科 情報システム工学科	<u>○普通科あるいはこれに準ずる学科(総合学科を含む) を卒業又は卒業見込みの者</u> 数学 (数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B) [1教科2科目] <u>○職業教育を主とする専門学科(総合学科は除く) を卒業又は卒業見込みの者</u> 数学 (数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1)と (数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1) [1教科2科目]	小論文及び面接

(3) 選考日時及び試験場

- ア. 選考日時 平成30年1月19日（金）9時から（8時30分までに集合）
- イ. 試験場 宮崎大学工学部（木花キャンパス）
宮崎市学園木花台西1丁目1番地 TEL(0985)58-2874
- ウ. 選考当日の携行品 ①宮崎大学入学試験受験票〔推薦入試用〕
②大学入試センター試験受験票
③筆記用具
- エ. その他 詳しくは、試験当日工学部玄関前に掲示します。

農 学 部

(I) センター試験を課さない推薦入試

植物生産環境科学科，森林緑地環境科学科，応用生物科学科，海洋生物環境学科，畜産草地科学科

(1) 選抜方法

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、面接及び出願書類（出身高等学校長からの推薦書及び調査書並びに本人自筆の志望理由書）の結果を総合して選抜します。

(2) 選考方法

ア. 書類選考…出身高等学校長からの推薦書及び調査書，本人自筆の志望理由書によって行います。

イ. 面接…複数の教員で個人面接（ただし，志願者数が多い場合は集団面接）を行い，口述試験を含み，専門に関わる基礎能力及び適性等をみます。

面接時間は，以下のとおりです。

- ・植物生産環境科学科－1人20分程度
- ・森林緑地環境科学科－1人20分程度
- ・応用生物科学科－1人30分程度 ※
- ・海洋生物環境学科－1人20分程度
- ・畜産草地科学科－1人20分程度

※応用生物科学科は面接を行う前に試問内容を提示し，面接でそれに関する口述試験を行います。

(3) 選考日時及び試験場

ア. 選考日時 選考は平成29年11月21日（火）及び22日（水）に実施します。

※ただし，受験者数によっては11月21日（火）の一日で終了する場合があります。

各受験者の選考日時は，出願期間終了後に受験票送付用封筒で受験票と一緒に通知します。

イ. 試験場 宮崎大学農学部（木花キャンパス）

宮崎市学園木花台西1丁目1番地 TEL(0985)58-3834

ウ. 選考当日の携行品 ①宮崎大学入学試験受験票〔推薦入試用〕

②筆記用具

エ. その他 詳しくは，試験当日農学部講義棟前に掲示します。

地域資源創成学部

(I) センター試験を課さない推薦入試

地域資源創成学科（普通科あるいはこれに準ずる学科及び職業教育を主とする専門学科又は総合学科）

(1) 選抜方法

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，小論文，面接及び出願書類（出身高等学校長からの推薦書，調査書，本人自筆の志望理由書，資格・検定試験等の成績及び各種大会等での成績）の結果を総合して選抜します。

(2) 選考方法（普通・専門ともに共通）

ア. 小論文…小論文は，当日提示する課題について論述し，解答時間は90分とします。

イ. 面接…面接は複数の教員で個人面接と集団面接を行い，集団討論を含み，社会や地域の問題への関心をみます。集団面接は1グループ（5人前後）30分程度とします。

(3) 選考日時及び試験場

ア. 選考日時 平成29年11月23日（木）及び24日（金）9時から（8時30分までに集合）

※ただし，受験者数によっては11月23日（木）の一日で終了する場合があります

ので，出願期間終了後，受験票送付時に各人に選考日を通知します。

イ. 試験場 宮崎大学地域資源創成学部（木花キャンパス）

宮崎市学園木花台西1丁目1番地 TEL(0985)58-7847

ウ. 選考当日の携行品 ①宮崎大学入学試験受験票〔推薦入試用〕

②筆記用具

エ. その他 詳しくは，試験当日地域資源創成学部玄関前に掲示します。

(4) 各学部（学科・課程等）の配点

学部（学科・課程等）名		大学入試センター試験						小論文	面接	書類 審査	合計	
		課す・ 課さない	国語	地理・歴史	公民	数学	理科					外国語 (注)
教育学部 (学校教育課程)	小中一貫教育コース 小学校主専攻	課す	200	200 ----- 100		200	100 ----- 200	200	—	200		1100
	小中一貫教育コース 中学校主専攻	課さない	—	—	—	—	—	—	100	100		200
	教職実践基礎コース	課さない	—	—	—	—	—	—	80	120		200
	発達支援教育コース 子ども理解専攻	課す	200	200 ----- 100		200	100 ----- 200	200	—	400		1300
	発達支援教育コース 特別支援教育専攻	課さない	—	—	—	—	—	—	60	140		200
医学部	医学科	課す	200	100		200	200	200	—	※		900
	看護学科	課さない	—	—	—	—	—	—	100	100	※	200
工学部	環境応用化学科	課さない	—	—	—	—	—	—	100	400		500
	社会環境システム工学科	課さない	—	—	—	—	—	—	100	400		500
	環境ロボティクス学科	課さない	—	—	—	—	—	—	100	400		500
	機械設計システム工学科	課さない	—	—	—	—	—	—	100	400		500
	電子物理工学科	課さない	—	—	—	—	—	—	100	400		500
		課す	—	—	—	200	—	—	100	200		500
	電気システム工学科	課さない	—	—	—	—	—	—	100	400		500
		課す	—	—	—	200	—	—	100	200		500
	情報システム工学科	課さない	—	—	—	—	—	—	100	400		500
課す		—	—	—	200	—	—	100	200		500	
農学部	植物生産環境科学科	課さない	—	—	—	—	—	—	300	100		400
	森林緑地環境科学科	課さない	—	—	—	—	—	—	300	100		400
	応用生物科学科	課さない	—	—	—	—	—	—	200	100		300
	海洋生物環境学科	課さない	—	—	—	—	—	—	300	100		400
	畜産草地科学科	課さない	—	—	—	—	—	—	200	100		300
地域資源創成学部	地域資源創成学科 (普通・専門)	課さない	—	—	—	—	—	100	150	50		300

※ 合否判定の重要な資料とします。

注) 大学入試センター試験の外国語において英語(250点満点)とその他の外国語(200点満点)で配点が変わっているため、英語を選択した場合は、以下のとおり200点満点に圧縮後、各学科(課程)等の配点に換算します。

筆記試験及びリスニングテストの配点	リスニングテストを免除された者
筆記試験とリスニングテストの合計得点250点満点を200点満点に圧縮します。	筆記試験を200点満点とします。

(5) 合否判定基準（推薦入試）

総合得点（25ページ参照）により順位付けを行い、合否を決定します。

ただし、① 志望する学部（学科・課程等）が指定する大学入試センター試験（センター試験を課す推薦入試のみ）の教科・科目、及び小論文・面接等をすべて受験しなければ、合否判定の対象にはなりません。

② 医学部医学科においては、面接の評価が合格に達しない者は不合格とします。

③ 総合得点が同点の場合は、次表に示す教科・科目等の優先順位により順位付けを行います。

学部	大学入試センター試験	学科・課程（コース・専攻）	優先順位
教育学部	課さない推薦入試	学校教育課程 小中一貫教育コース 中学校主免専攻（専門学科枠） 教職実践基礎コース（宮崎県教員希望枠） 発達支援教育コース 特別支援教育専攻	①面接の得点 ②小論文の得点
	課す推薦入試	学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主免専攻 発達支援教育コース 子ども理解専攻	①面接の得点 ②大学入試センター試験の国語と外国語の合計得点
医学部	課さない推薦入試	看護学科	①選考試験の面接の得点
	課す推薦入試	医学科	①選考試験の面接の段階評価
工学部	課さない推薦入試	環境応用化学科 社会環境システム工学科 環境ロボティクス学科 機械設計システム工学科 電子物理工学科 電気システム工学科 情報システム工学科	①面接及び書類審査の得点
	課す推薦入試	電子物理工学科 電気システム工学科 情報システム工学科	①面接及び書類審査の得点
農学部	課さない推薦入試	植物生産環境科学科	①面接試験の結果 ②志望理由書の結果
		森林緑地環境科学科	①面接試験の結果
		応用生物科学科	①面接試験の結果 ②推薦書の結果
		海洋生物環境科学科	①面接試験の結果
		畜産草地科学科	①面接試験の結果 ②志望理由書の結果 ③調査書の結果
地域資源創成学部	課さない推薦入試	地域資源創成学科（普通・専門）	①面接の得点 ②小論文の得点

6. 受験上の注意事項

(1) 試験前日までの注意事項

- ① 試験場については、試験日前日の午後に各試験場の掲示板にて試験室等を確認してください。ただし、建物に立ち入ることはできません。
- ② 重要なお知らせ等がある場合は、以下の本学ホームページにてお知らせしますので、各自で確認してください。
URL : <http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam>
- ③ 天候や交通機関の運行状況等を確認のうえ、代替の移動手段（航空機が欠航した場合に鉄道で移動する等）を確認しておく等、遅刻することの無いよう、万全の準備を行ってください。

(2) 試験当日の注意事項

- ① **本学の受験票を必ず持参してください。**
また、**センター試験を課す推薦入試を受験する者は、本学の受験票とあわせて「大学入試センター試験受験票」を持参してください。**
- ② 指定された時間までに指定された集合場所にて待機してください。（時間、場所については受験票に同封する文書で確認してください。）
また、交通事情等で遅刻する場合は必ず以下へご連絡ください。
 - ・教育学部試験場 : 教務・学生支援係 TEL: 0985-58-2891
 - ・医学部試験場 : 入試係 TEL: 0985-85-8970
 - ・工学部試験場 : 教務・学生支援係 TEL: 0985-58-2874
 - ・農学部試験場 : 教務・学生支援係 TEL: 0985-58-3834
 - ・地域資源創成学部試験場 : 教務・学生支援係 TEL: 0985-58-7847
- ③ 試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、医学部医学科の面接試験においては、指定された時間に遅れた場合、面接を認めません。工学部の面接試験においては、指定された時間に遅れた場合、特別な事情がない限り面接を認めません。
- ④ その他、**受験票の裏面に記載の「試験場における注意事項」を必ず確認してください。**

(3) 入試Q&Aについて

出願書類・実施方法等に関して、お問い合わせの多い事項をQ&A形式にまとめたものを以下の本学ホームページにて掲載しております。

URL : <http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/exam/q-anda>

7. 一般入試への出願及び受験

国公立大学・学部への推薦入試の出願は、大学入試センター試験を課す、課さないに関係なく、1つの大学の1つの学科等に限り（注）。この推薦入試で不合格となった場合に備えて「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの、合計2つの大学のそれぞれ1つの学科等の一般入試への出願及び受験が可能です。

なお、国公立大学・学部の推薦入試合格者で、入学を辞退し一般入試への出願及び受験を志望する者は、当該推薦入試を実施する大学・学科等の定める入学辞退手続により入学の辞退を承認されない限り、一般入試を受験しても合格者とはなりません。

本学における入学辞退については、「V. 入学手続に関する注意事項」（43ページ）を参照してください。

（注）ただし、本学の工学部のセンター試験を課さない推薦入試で不合格となった場合には、センター試験を課す推薦入試において、本学の同一学部・同一学科へのみ出願ができます。

8. 本学の一般入試を志望する者の手続

推薦入試志願者で本学の一般入試を志望する者は、一般入試学生募集要項により平成30年1月22日（月）から1月31日（水）までに、一般入試の志願者として出願してください。

〔本学の一般入試学生募集要項は、平成29年11月中旬に発表する予定です。〕

9. 合格者発表

（Ⅰ）センター試験を課さない推薦入試

（1）平成29年12月1日（金）10時から学生支援部掲示板（52ページを参照）に合格者の受験番号を掲示し、合格者には合格通知書及び入学手続書類を送付します。

なお、医学部看護学科については、医学部講義実習棟玄関前（53ページを参照）にも掲示します。

（2）選考結果は12月1日（金）付けで推薦学校長に通知します。

（Ⅱ）センター試験を課す推薦入試

（1）平成30年2月7日（水）10時から学生支援部掲示板（52ページを参照）に合格者の受験番号を掲示し、合格者には合格通知書及び入学手続書類を送付します。

なお、医学部医学科については、医学部講義実習棟玄関前（53ページを参照）にも掲示します。

（2）選考結果は2月7日（水）付けで推薦学校長に通知します。

共通事項

- ・合格者発表当日の正午頃までに、合格者の受験番号をホームページ(<http://www.miyazaki-u.ac.jp/>)に掲載しますが、これは情報サービスの一環として行うものであり、公式の合格者の発表は上記に記載しているとおりです。
- ・合格者発表に関する電話等の照会には一切応じません。

Ⅲ. AO入試

1. 募集人員等

教育学部 学校教育課程 小中一貫教育コース中学校主免専攻 12人
 (※選択できる教科及び募集人員
 音楽…2人, 美術…2人, 保健体育…4人, 家庭…2人, 英語…2人)

2. 対象者

AO入試は、合格した場合必ず入学することを確約できる者を対象としています。高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。

教育学部学校教育課程小中一貫教育コース中学校主免専攻に出願できる者は次のとおりです。

- (1) 次のア.～ウ.のいずれかに該当する者
 - ア. 高等学校を平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者
 - イ. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者
 - ウ. 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- (2) 小学校及び中学校教育に対する熱意を有する者
- (3) 選択した教科の教育に対する熱意を有する者
- (4) 合格した場合は入学することを確約できる者
- (5) 入学後は、小中一貫教育コース中学校主免専攻において、出願時に選択した教科を専修とすることを確約できる者

3. 出願手続

- (1) 出願書類 (出願書類の記入は、黒のボールペン(又はペン)を使用してください。
 なお、本学の求める出願書類以外は選抜に利用しませんので、提出しないでください。)

出 願 書 類 等	摘 要
入 学 志 願 票	本要項に添付の用紙を使用してください。また、記入にあたっては、「Ⅷ. 入学志願票の記入要領及び記入例」(45～50ページ)を参照してください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; margin: 5px 0;">成績請求票について(第1次選考合格者のみ)</div> 第1次選考合格者にあつては、所定の欄に「 AO平成30センター試験成績請求票(国公立AO入試用) 」を貼付することとしていますが、大学入試センターからの受験票等の発送は本学の出願受付締切後(12月上旬～中旬予定)になることから、第1次選考の合格通知書と併せて「 成績請求票貼付台紙 」を送付しますので、それに貼付し、12月19日(火)までに宮崎大学入試課へ到着するよう簡易書留速達で郵送してください。 なお、期日までに送付できない場合は学生支援部入試課(0985-58-7138)に連絡してください。
受 験 票 ・ 写 真 票	上記志願票の該当箇所に必要事項を記入し、それぞれに同一の写真を貼付してください。写真は、正面上半身無帽(縦4cm×横3cm)で出願以前6か月以内に撮影したものを使用してください。志願票から切り離さないでください。
検 定 料 振 込 証 明 書 貼 付 台 紙	下記検定料を納入後、銀行窓口において受領する「 C票 検定料振込証明書 」を上記志願票の台紙に貼付してください。志願票から切り離さないでください。
検 定 料 (17,000円)	本要項添付の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。
調 査 書	文部科学省所定の様式により、出身高等学校長が作成し、厳封したもの。 ※出身高等学校等において指導要録が保存年限を超え、調査書を発行できない場合には、 その旨を記した証明書、単位修得証明書及び卒業証明書 の3つの提出をもって、これに代えることができます。 ※高等学校卒業程度認定試験等に合格した者は当該試験の 合格成績証明書 をもって代えることができます。ただし、 高等学校等での取得単位を有する場合は当該高等学校等の成績証明書 を添付してください。
自 己 推 薦 書	本学所定の用紙(AO入試出願用封筒に封入されたもの)に、本人自筆で記入してください。
志 望 理 由 書	本学所定の用紙(AO入試出願用封筒に封入されたもの)に、本人自筆で記入してください。
実 技 ・ 活 動 等 に 関 する 調 査 書	本学所定の用紙(AO入試出願用封筒に封入されたもの)に、本人自筆で記入してください。
伴 奏 譜 又 は 楽 譜 (該 当 者 の み)	音楽を志望する者は、32ページで詳細を確認してください。
受 験 票 等 送 付 用 封 筒	本要項に添付の封筒に 切手(362円)を貼り 、志願者の住所、氏名、郵便番号を記入してください。
あ て 名 票	本要項に添付のあて名票用紙に、合格通知書及び入学手続書類を受け取る際の住所、氏名、郵便番号を記入してください。

調査書の記載についての注意事項（出身高等学校長の皆様へ）

- ①「2. 各教科・科目等の学習の記録」欄の「修得単位数の計」は必ず記入してください。
- ②学習成績概評A段階に属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀で、出身高等学校長が責任をもって推薦できる者について「4. 学習成績概評」欄にAと標示した場合には、「9. 備考」の欄にその理由を明示してください。
- ③調査書中「5. 出欠の記録」欄に、欠席日数を記載した場合、必ず備考欄に欠席理由を記入してください。
- ④「校長名」及び「記載責任者職氏名」は必ず明記し、押印（写しは不可）してください。

(2) 出願書類の受付期間等

平成29年11月1日（水）～11月6日（月）

- ア. 持参の場合の受付時間は、土曜日、日曜日及び祝日を除く8時30分から17時までです。
イ. 郵送する場合は、必ず書留速達とし、入試課へ**期間内必着（17時必着）**です。
なお、**期間内に到着しない場合は受理しませんので郵便事情を考慮して十分余裕をもって発送してください。**

(3) 出 願 先

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学学生支援部入試課
電 話：(0985) 58-7138
FAX：(0985) 58-2865

(4) 出 願 方 法

- ア. 出願書類等は個人ごとに本要項に添付している「入学願書在中」の封筒を使用し、持参又は郵送（書留速達）してください。
イ. 国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）へのA〇入試の出願は、大学入試センター試験を課す、課さないに関係なく、一つの大学の一つの学科等に限ります。

(5) 注 意 事 項

- ア. 出願書類に不備がある場合には受理しないことがありますので十分注意してください。
イ. 出願書類受付後、選択した教科の変更は認めません。
ウ. 受付後の出願書類等は返還しません。
エ. 出願手続及び入学手続において不正な行為があった場合は、入学を取り消すことがあります。
オ. 検定料が振り込まれていない場合又は、検定料が振り込まれていても振込済の「C票 検定料振込証明書」が検定料振込証明書貼付台紙に貼付されていない場合は出願を受理しません。
カ. 振込済の検定料は、以下の場合を除き、返還いたしません。
(1) 検定料を振り込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
(2) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

返還請求の方法

検定料返還請求願（様式は問いません。返還請求理由、氏名（フリガナ）、現住所、電話番号、検定料返還先銀行口座情報（銀行名、支店名、口座種別、口座番号、口座名義（カタカナ））を明記したもの）を作成し、必ず「**C票 検定料振込証明書**」を添付のうえ、**以下宛へ平成30年3月31日（必着）までに**、速やかに郵送してください。平成30年4月1日以降に申し出られた場合、返還に応じることはできませんのでご了承ください。

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学財務部財務課出納係
電話：(0985) 58-7122（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

4. 受験票の交付

受験票は、出願受付期間終了後本人あてに郵送します。平成29年11月17日(金)までに届かない者は、至急学生支援部入試課へ照会してください。

5. AO入試方法等

AO入試における志望する学部・課程（コース・専攻）が指定した教科・科目は「（3）選抜方法等（32ページ）」のとおりです。受験する際は以下の注意事項に十分留意し、志望する学部・課程（コース・専攻）の指定した受験教科・科目を確実に受験してください。

大学入試センター試験で受験を要する教科・科目に関する注意事項

AO入試を実施する学部・課程（コース・専攻）は、平成30年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目を指定しています。志望する学部・課程（コース・専攻）が指定した教科・科目（第1解答科目の指定を含む）を一つでも受験していないことが判明した場合、合否判定の対象とはなりませんので、注意してください。

（1）大学入試センター試験に係る注意事項

I. 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目について

地理歴史・公民及び理科の基礎を付していない科目を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取扱います。

また、得点の採用方法等については、「（3）選抜方法等」の志望する学部・課程（コース・専攻）の「大学入試センター試験の成績の取扱いについての注意事項」で確認してください。

II. 成績の利用について

大学入試センター試験の成績は、平成30年度のものに限り利用します。

（2）教科・科目名の表記について

大学入試センター試験の教科・科目名は、次のように表記しています。

教科名	科目名
国語→国	『国語』→『国語』
地理歴史→地歴	『世界史A』→『世A』, 『世界史B』→『世B』, 『日本史A』→『日A』, 『日本史B』→『日B』, 『地理A』→『地理A』, 『地理B』→『地理B』
公民→公民	『現代社会』→『現社』, 『倫理』→『倫』, 『政治・経済』→『政経』, 『倫理,政治・経済』→『倫・政経』
数学→数	『数学Ⅰ』→『数Ⅰ』, 『数学Ⅱ』→『数Ⅱ』, 『数学A』→『数A』, 『数学B』→『数B』, 『簿記・会計』→『簿』, 『情報関係基礎』→『情報』
理科→理	『物理基礎』→『物基』, 『化学基礎』→『化基』, 『生物基礎』→『生基』, 『地学基礎』→『地基』, 『物理』→『物』, 『化学』→『化』, 『生物』→『生』, 『地学』→『地学』
外国語→外	『英語』→『英』, 『ドイツ語』→『独』, 『フランス語』→『仏』, 『中国語』→『中』, 『韓国語』→『韓』

※理科の『基礎を付した科目』とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指し、『基礎を付していない科目』とは、物理、化学、生物、地学を指します。

(3) 選抜方法等

教育学部

学校教育課程小中一貫教育コース中学校主免専攻（音楽、美術、保健体育、家庭、英語）

(1) 選抜方法

（第1次選考）面接①・書類審査（出願書類：自己推薦書、志望理由書、実技・活動等に関する調書）、各教科の定める個別審査により選抜します。なお、第2次選考に向けて課題を課す場合があります。

※第1次選考時に選考の流れ及び第2次選考に向けての心構え等を説明するガイダンスを行います。
（第2次選考）面接②、第1次選考の結果及び大学入試センター試験の結果を総合して選抜します。なお、第1次選考時に課した課題は面接②の基礎資料とします。

課程（コース・専攻）	大学入試センター試験で受験を要する教科・科目名	選考試験の種類
学校教育課程 小中一貫教育コース 中学校主免専攻 音楽・美術 保健体育・ 家庭・英語	国（国語） 外（英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1） 数（数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・B、簿、情報） 地歴・公民（世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、「倫・政経」） 理（物、化、生、地学、（物基、化基、生基、地基から2）） （3教科3科目又は3教科4科目）	第1次選考） 面接① 各教科の定める 個別審査 第2次選考） 面接②

大学入試センター試験の成績の取扱いについての注意事項

- 1) 数学、地歴・公民及び理科において、受験する科目のうち高得点の成績を採用します。ただし、地歴・公民及び理科の「第2解答科目」は、利用しません。
- 2) 英語は、筆記試験、リスニングテストの両方を必ず受験してください（大学入試センターからリスニングテストを免除された者を除きます）。筆記試験のみ受験した者（免除者以外）及びリスニングテストのみ受験した者は英語を受験しなかったものとして取り扱います。

(2) 選考方法

ア. 学校教育課程小中一貫教育コース中学校主免専攻（音楽）

【第1次選考】

面接①：複数の教員で面接（集団又は個人）を行い、書類審査を含み、中学校及び小学校教育、音楽科教育への関心及び教員としての適性等をみます。また、質問内容には音楽に関する基礎的知識（楽典等）を含みます。面接時間は15分程度とします。

教科の定める個別審査（実技）：

次の1. 及び2. をどちらも演奏する。

1. ピアノ 次の練習曲集から任意の1曲（暗譜）

C. Czerny 40番 練習曲集 op. 299

C. Czerny 50番 練習曲集 op. 740

F. Chopin 練習曲集 op. 10, op. 25（ただしop. 10-6, op. 25-7を除く）

2. 声楽、管楽器又は弦楽器

声楽を選択する場合は、次の3曲から任意の1曲（暗譜の必要はない）。

Concone 50番 op. 9より 24番, 29番, 39番

※ 中声用又は低声用のいずれかを出願時に選択すること。母音唱、階名唱、音名唱のいずれも可とする。伴奏者及び伴奏譜（全音楽譜出版社）は本学で用意する。

管楽器又は弦楽器を選択する場合は、任意の練習曲（暗譜の必要はない）。

※ 出願時に楽譜を同封すること。

【第2次選考】

面接②：複数の教員で個人面接を行い、音楽科教員としての適性等をみます。次の1. 2. 3. よりいずれかを選択して演奏した後、演奏した楽曲や、自身の演奏等についての質問に答えます。面接時間は1人20分程度（演奏を含む）とします。

1. ピアノ J. Haydn, W. A. Mozart, L. v. Beethoven のソナタの中から、緩徐楽章及び変奏曲楽章を除く任意の1つの楽章（暗譜。繰り返し及びD.C.は省略）

2. 声楽 イタリア語又はドイツ語の歌詞による任意の1曲（原語。暗譜）

※ 原則として、原調で演奏すること。ただし、出版されている移調楽譜の使用も可とする。伴奏者は本学が用意する。伴奏譜については、出願時に同封すること。

3. 管楽器又は弦楽器 任意の1曲（暗譜。ソナタ又は協奏曲の場合は1つの楽章）

※ 繰り返し省略。カデンツァ省略可。練習曲も可とするが、第1次選考と同一曲は不可。当日伴奏無し。出願時に楽譜を同封すること。

イ. 学校教育課程小中一貫教育コース中学校主免専攻（美術）

【第1次選考】

面接①：複数の教員で面接（集団又は個人）を行い、書類審査を含み、中学校及び小学校教育、美術科教育への関心及び適性等をみます。面接時間は15分程度とします。

教科の定める個別審査（実技）：

「鉛筆デッサン」（モチーフの一部として使用する紙工作を含む（注））を行い、構成力・描写力・表現力をみます。

（注）モチーフ作りの詳細については、当日ガイダンスにて説明します。

【第2次選考】

面接②：複数の教員で個人面接を行い、中学校及び小学校教育、美術科教育に関わる関心及び適性等をみます。面接時間は1人20分程度とします。

ウ. 学校教育課程小中一貫教育コース中学校主免専攻（保健体育）

【第1次選考】

面接①：複数の教員で面接（集団又は個人）を行い、書類審査を含み、中学校及び小学校教育、保健体育科教育への関心及び適性等をみます。面接時間は15分程度とします。

教科の定める個別審査（実技）：

「陸上競技」、「ダンス」、「器械運動」、「バレーボール」、「バスケットボール」、「サッカー」の中から、当日こちらが指定した4～6種目を行い、中学校教員に必要な基礎的運動能力をみます。

（注）実技内容の詳細については、当日ガイダンスにて説明します。

【第2次選考】

面接②：複数の教員で個人面接を行い、中学校及び小学校教育、保健体育科教育への関心及び適性等をみます。面接時間は1人20分程度とします。

エ. 学校教育課程小中一貫教育コース中学校主免専攻（家庭）

【第1次選考】

面接①：複数の教員で面接（集団又は個人）を行い、書類審査を含み、中学校及び小学校教育、家庭科教育への関心及び適性等をみます。面接時間は15分程度とします。

教科の定める個別審査（プレゼンテーション等）：

高等学校までに学習した家庭科の内容に関するテーマについて、プレゼンテーションをしてもらいます。さらにその内容についての質疑応答を行い、自分の考えをまとめ人に伝える能力と大学で家庭科を学ぶ上での基礎力をみます。

（注）プレゼンテーションの詳細については、当日ガイダンスにて説明します。

【第2次選考】

面接②：複数の教員で面接（集団または個人）を行い、中学校及び小学校教育、家庭科教育への関心及び適性等をみます。面接時間は1人20分程度とします。

オ. 学校教育課程小中一貫教育コース中学校主免専攻（英語）

【第1次選考】

面接①：複数の教員で面接（集団又は個人）を行い、書類審査を含み、中学校及び小学校教育、英語科教育への関心及び適性等をみます。教科の定める個別審査で書いた英文についての英語による質疑応答等を含みます。面接時間は20分程度とします。

教科の定める個別審査（英語によるコミュニケーション）：

与えられたテーマについて200語程度の英作文等を課します。

【第2次選考】

面接②：複数の教員で個人面接を行い、中学校及び小学校教育、英語科教育への関心及び適性等をみます。面接時間は1人20分程度とします。なお、英語による質疑応答を含みます。

(3) 選考日時及び試験場

【第1次選考】

ア. 選考日時 平成29年11月25日(土)・26日(日)

※すべての試験時間は、進行の度合いによっては開始時刻等を変更することがあります。出願状況によっては、いずれかの1日、又は2日間での実施となります。詳しくは、受験票送付の際にお知らせします。

「各教科の定める個別審査」は、「個別審査」と略記しています。

教育学部学校教育課程小中一貫教育コース中学校主免専攻

試験日	教科	試験時間等									
		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
1日目 ※	音楽	ガイダンス 9:00 ~9:40	個別審査(実技) 10:00~					面接① 個別審査終了後			
	美術	ガイダンス 9:00 ~9:40	個別審査(実技) 10:00~12:00		個別審査(実技) 13:00~15:00		面接① 15:30~				
	保健体育	ガイダンス 9:00 ~9:40	個別審査(実技) 10:00~					面接① 個別審査終了後			
	家庭	ガイダンス 9:00 ~9:40	個別審査(プレゼンテーション等)及び面接① 10:00~								
	英語	ガイダンス 9:00 ~9:40	個別審査(*) 10:00 ~11:00	面接① 11:30~							
		*英語によるコミュニケーション									
2日目 ※	音楽 美術 保健体育 英語	面接① 9:00~									
	家庭	個別審査(プレゼンテーション等)及び面接① 9:00~									

- イ. 集 合 場 所 宮崎大学教育学部（木花キャンパス）
宮崎市学園木花台西1丁目1番地 TEL(0985)58-2891
- ウ. 選考当日の携行品 ①宮崎大学入学試験受験票〔AO入試用〕
②筆記用具
③各教科の定める個別審査に要する道具
音 楽：声楽，管楽器又は弦楽器用楽譜（必要とする者のみ），楽器
（管楽器又は弦楽器を選択した者のみ）
美 術：鉛筆デッサン用具，はさみ，のり，定規（30cm程度）
保健体育：運動のできる服装，体育館シューズ，屋外シューズ（スパイク
は除く）
家 庭：特になし
英 語：特になし

【第2次選考】

- ア. 選 考 日 時 平成30年1月20日（土）・21日（日）
※受験者数によっては，いずれかの1日，又は2日間での実施となります。
詳しくは，第1次選考結果通知の際にお知らせします。
- イ. 集 合 場 所 宮崎大学教育学部（木花キャンパス）
宮崎市学園木花台西1丁目1番地 TEL(0985)58-2891
- ウ. 選考当日の携行品 ①宮崎大学入学試験受験票〔AO入試用〕
②大学入試センター試験受験票
③筆記用具
④第1次選考時に課された課題（課されている場合のみ）
⑤その他
音 楽：面接②で使用する楽器（管楽器又は弦楽器を選択した者のみ）

(4) 学部・課程（コース・専攻）の配点

学部・学科等名		大学入試センター試験							書類審査	面接①	面接②	各教科の定める個別審査	合計
		課す・課さない	国語	地理・歴史	公民	数学	理科	外国語(注)					
教育学部	学校教育課程 小中一貫教育コース 中学校主専攻	課す	200	200※		200※	200※	200	600	200	200	300	1300
	第1次選考									200		300	500
	第2次選考	課す	200	200※		200※	200※	200	600		200		800

※印は選択科目を示します。

注) 大学入試センター試験の外国語において英語(250点満点)とその他の外国語(200点満点)で配点が異なっているため、英語を選択した場合は、以下のとおり200点満点に圧縮後、各学科(課程)等の配点に換算します。

筆記試験及びリスニングテストの配点	リスニングテストを免除された者
筆記試験とリスニングテストの合計得点250点満点を200点満点に圧縮します。	筆記試験を200点満点とします。

(5) 合否判定基準(AO入試)

※本学が指定する大学入試センター試験の教科・科目、及び面接・実技等のすべて受験しなければ、第1次選考及び第2次選考の合否判定の対象となりません。

(第1次選考)

第1次選考の合計得点(500点満点)により順位付けを行い、原則として下記のいずれにも該当する者を合格者とします。

- 1 各教科とも募集人員の約5倍以内の順位の者
- 2 音楽・美術・家庭・英語：合計得点が5割以上の者
保健体育：合計得点が4割以上の者

なお、合計得点が同点の場合には、同順位とします。

(第2次選考)

総合得点(1300点満点)により順位付けを行い、合否を決定します。

なお、総合得点が同点の場合には、下記により順位付けを行います。

- 1 本学が実施する、書類審査・面接①、面接②及び各教科の定める個別審査等の合計得点が高い者
- 2 各教科の定める個別審査の得点が高い者

6. 受験上の注意事項

(1) 試験前日までの注意事項

- ① 試験場については、第1次選考日及び第2次選考日の試験日前日の午後に教育学部試験場の掲示板にて試験室等を確認してください。
ただし、建物に立ち入ることはできません。
- ② 重要なお知らせ等がある場合は、以下の本学ホームページにてお知らせしますので、各自で確認してください。
URL : <http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam>
- ③ 天候や交通機関の運行状況等を確認のうえ、代替の移動手段（航空機が欠航した場合に鉄道で移動する等）を確認しておく等、遅刻することの無いよう、万全の準備を行ってください。

(2) 試験当日の注意事項

- ① **本学の受験票を必ず持参してください。**
また、**第2次選考受験者は、本学の受験票とあわせて「大学入試センター試験受験票」を持参してください。**
- ② 指定された時間までに指定された集合場所にて待機してください。（時間、場所については受験票に同封する文書で確認してください。）
また、やむを得ない事情で遅刻する場合は必ず以下へご連絡ください。
・教育学部試験場 : 教務・学生支援係 TEL : 0985-58-2891
- ③ 試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- ④ その他、**受験票の裏面に記載の「試験場における注意事項」を必ず確認してください。**

(3) 入試Q&Aについて

出願書類・実施方法等に関して、お問い合わせの多い事項をQ&A形式にまとめたものを以下の本学ホームページにて掲載しております。

URL : <http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/exam/q-anda>

7. 一般入試・推薦入試への出願及び受験

国公立大学・学部へのAO入試の出願は、1つの大学の1つの学科等に限り、このAO入試で不合格となった場合に備えて「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの、合計2つの大学のそれぞれ1つの学科等の一般入試への出願及び受験が可能です。

また、本学のAO入試に出願する場合、国公立大学・学部への推薦入試の出願はできません。ただし、第1次選抜不合格者においては、第1次選抜合格発表日（平成29年12月1日）以降であれば、国公立大学・学部への推薦入試に出願することができます。

なお、国公立大学・学部のAO入試合格者で、入学を辞退し一般入試への出願及び受験を志望する者は、当該AO入試を実施する大学・学科等の定める入学辞退手続により入学の辞退を承認されない限り、一般入試を受験しても合格者とはなりません。

本学における入学辞退については、「V. 入学手続に関する注意事項」（43ページ）を参照してください。

8. 本学の一般入試を志望する者の手続

AO入試志願者で本学の一般入試を志望する者は、一般入試学生募集要項により平成30年1月22日（月）から1月31日（水）までに、一般入試の志願者として出願してください。

〔本学の一般入試学生募集要項は、平成29年11月中旬に発表する予定です。〕

9. 合格者発表

第1次選考

平成29年12月1日（金）10時から学生支援部掲示板（52ページを参照）に合格者の受験番号を掲示し、合格者には第1次選考合格通知書及び第2次選考試験日程通知書を送付します。

第2次選考（最終合格）

平成30年2月7日（水）10時から学生支援部掲示板（52ページを参照）に合格者の受験番号を掲示し、合格者には合格通知書及び入学手続き書類を送付します。

・合格者発表当日の正午頃までに、合格者の受験番号をホームページ (<http://www.miyazaki-u.ac.jp>) に掲載しますが、これは情報サービスの一環として行うものであり、公式の合格者の発表は上記に記載しているとおりです。

・合格者発表に関する電話等の照会には一切応じません。

IV. 共通事項

1. 障害等のある入学志願者の事前相談

下表のような障害等があり、受験上の配慮及び修学上の配慮を必要とする者（教育学部においては、附属学校園及び公立学校での教育実習等に際して配慮が必要と思われる者、医学部においては、附属病院及び関連教育病院等での臨床実習に際して支障があると思われる者、地域資源創成学部においては、インターンシップを含む実践教育に際して支障があると思われる者を含む）は、下記により相談申請書に医師の診断書を添えて、予め相談してください。

(1) 相談期限

相談期限は、出願開始日の1ヶ月前までとします。

ただし、期限を過ぎていた場合又は出願締切後に不慮の事故のため受験上・修学上の配慮を必要とされる場合については、早急に本学学生支援部入試課へ連絡してください。

(2) 相談方法

宮崎大学のホームページから相談申請書をダウンロードして次の内容を記載のうえ、医師の診断書を添えて提出してください。

ア 志願者氏名、志望学部（学科・課程等）、入試区分（推薦入試・AO入試）

イ 障害等の種類・程度

ウ 受験上・修学上の配慮を希望する事項

エ 出身学校でとられていた配慮事項

オ 日常生活の状況

カ 住所及び連絡先の電話番号

なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者との面談等を行うこともあります。

※相談申請書ダウンロード先：<http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/exam/1789-2>

(3) 相談先

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学学生支援部入試課
電話：(0985) 58-7138
FAX：(0985) 58-2865

区 分	障 害 の 程 度
①視 覚 障 害	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもの のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能 又は著しく困難な程度のもの
②聴 覚 障 害	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもののうち、補聴器等の使用に よっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
③肢 体 不 自 由	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基 本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医学的観 察指導を必要とする程度のもの
④病 弱	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が 継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
⑤発 達 障 害	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害 等のため配慮を必要とするもの
⑥そ の 他	①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とするもの

備考 1. 視力の測定は、万国式試視力表によるものとし、屈折異常があるものについては、
矯正視力によって測定する。
2. 聴力の測定は、日本工業規格によるオーディオメータによる。

2. 入学手続等

(1) 入学手続期間

平成30年2月14日（水）まで（17時必着）
※原則郵送としますが、やむを得ない事情により郵送で入学手続ができない場合は、事前に連絡の上、来学しての入学手続が可能です。

上記期日までに入学手続きを完了しない者は、推薦入試及びAO入試合格者としての権利が消滅します。この場合、他に出願済みの国公立大学・学部を受験しても、その国公立大学・学部の合格者とはなりません。（「V. 入学手続に関する注意事項」も参照してください。）

(2) 入学手続方法

合格者は、入学手続期間内に入学手続書類を提出し、所定の入学料を納入のうえ、入学手続を完了してください。

(3) 納 入 金

① 入学料 282,000円

（注1）入学料に改定があった場合は、改定後の入学料を納入していただくことになります。

（注2）既納の入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。

①入学手続をしなかった場合

②入学料を誤って二重に払い込んだ場合

② 授業料 前期分 267,900円 後期分 267,900円 年額 535,800円

（注1）授業料は、新学期開始後にお支払いいただくことになります。

（注2）授業料の納入は、原則として、預金口座からの「口座振替」とします。

前期の口座振替日は初年度は5月下旬頃、次年度以降は4月下旬頃の予定です。

後期の口座振替日は10月下旬頃の予定です。授業料に関する事項はホームページ（<http://www.miyazaki-u.ac.jp/education/campus/jugyou/>）にてご確認ください。

（注3）授業料に改定があった場合は、改定後の授業料を納入していただくことになります。

（注4）在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(4) 入学手続の際に提出を求める書類等

合格者には、合格通知書、入学手続関係書類を送付します。必要事項を記入のうえ、これらの書類を提出してください。また、本学の受験票及び大学入試センター試験受験票（大学入試センター試験を課す学科・課程等の合格者のみ）を提出してください。

(5) 入学料免除

次のいずれかに該当する特別な事情により、納入が著しく困難であると認められる者は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の全額又は半額を免除することがあります。

ただし、免除を希望しても「免除の対象者」に該当しない場合は申請できませんので、事前に担当（学生生活支援課 0985-58-7976）へ必ず連絡してください。

① 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者が死亡した場合

② 入学前1年以内において、本人若しくは本人の学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合

③ 前各号に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

(6) 入学料徴収猶予

次のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の徴収を猶予することがあります。

① 経済的理由により入学料の納入が困難であり、かつ学業成績優秀と認められる者

② 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者が死亡した場合

③ 入学前1年以内において、本人若しくは本人の学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合

④ 前各号に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

(7) 授業料免除及び徴収猶予

次のいずれかに該当する者は、本人の申請に基づき選考のうえ、授業料の全額又は一部を免除することがあります。なお、授業料免除申請者は免除の可否が決定するまでの間、授業料の徴収が猶予されます。また、申請時期は大学の指定する日で前期・後期の年2回です。

- ① 経済的理由により授業料の納入が困難であり、かつ学業成績優秀と認められる者
- ② 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者が死亡した場合
- ③ 入学前1年以内において、本人若しくは本人の学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合
- ④ 前各号に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

入学料免除及び徴収猶予、授業料免除及び徴収猶予に関する問い合わせ先
宮崎大学学生支援部学生生活支援課 電話：0985-58-7976（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

(8) 奨学金

独立行政法人日本学生支援機構をはじめ都道府県・市町村・各種団体等による奨学金があります。これらはいずれも、人物、学業成績が優秀であり、経済的理由により学資支弁が困難な者を対象に本人の申請に基づき選考のうえ貸与又は給付されます。

また、修学意欲の向上及び学修研究活動の活発化を促し、優秀な人材の輩出をはかることを目的とし、学業成績の優秀な学生のますますの活躍を応援するため、本学独自の「夢と希望の道標」奨学金給付制度があります。

奨学金に関する問い合わせ先
宮崎大学学生支援部学生生活支援課 電話：0985-58-7140, 7976, 7882（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

(9) 教育用ノート型パソコンの購入・必携化について

国際社会におけるネットワーク化が進む中、「高度情報化時代に対応できる情報処理能力と倫理観を持った人材の育成」が必要となっています。

宮崎大学では、1年次の基礎教育開始時からコンピュータを使った文書作成、データを図表化する方法等の習得、ネットワークを利用して情報を受信・発信する能力の習得等、情報関連の教育を実施しています。また、専門教育に関しても、講義・実験のレポート作成や予習、復習のため、インターネットからの情報収集等が必要不可欠であります。

以上のことから、宮崎大学の教育方針をご理解いただくとともに、学生の皆さんには入学時に各個人でノート型パソコンをご準備していただくようお願いいたします。

追って、宮崎大学で最低限必要とするパソコンの性能等については、入学手続き時に再度ご案内いたします。

なお、医学部については、定められたパソコン端末により全国共通試験・演習等の実施の必要性から、所定のパソコンを設置していますので、個人所有のパソコンを携行する必要はありません。

(10) 在学中の保険制度について

本学では、学生が安心して修学及び研究活動ができるように、学生教育研究災害傷害保険（略称「学研災」）及び学研災付帯賠償責任保険（略称「学研賠」、「医学賠」）を取り扱っています。

「学研災」は、修学及び研究活動中又は通学中に起こった不慮の事故により、加入者が身体に傷害を被った場合に災害補償する制度であり、全員加入としています。また、「学研賠」、「医学賠」は、加入者が修学及び研究活動中に他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する制度です。

さらに保障範囲を拡大した保険として「学研災付帯学生生活総合保険」があり、加入は任意です。

これらの保険制度についての詳細と加入手続きについては、入学手続き類と併せて送付します。

在学中の保険制度に関する問い合わせ先
宮崎大学学生支援部学生生活支援課 電話：0985-58-7135（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

(11) 学生寄宿舍への入居

学生寄宿舍に入居を希望する者（外国人留学生は除く）は、下記①のとおり11月初旬に掲載する「学生寄宿舍入居申請要項」をダウンロードし、同要項にある「入居許可申請書」等を同要項記載の期限までに提出してください。また、ダウンロードできない方は、下記②のとおり「学生寄宿舍入居申請要項」を請求し、同要項に綴り込みの「入居許可申請書」等を同要項記載の期限までに提出してください。提出期限後の申請書は受理できませんので、入居を希望する者は必ず提出期限までに提出してください。

① ダウンロードによる学生寄宿舍入居申請要項の請求について

学生支援部ホームページ（<http://gakumu.of.miyazaki-u.ac.jp/gakumu/>）にある重要なお知らせの学生生活情報の欄をご覧ください。

② 学生寄宿舍入居申請要項の請求

ア 請求方法：返信用封筒（角形2号，本人の住所・氏名・郵便番号を明記のうえ，140円分の切手を貼付したもの）を同封し，「学生寄宿舍入居申請要項（〇〇入試）請求」と朱書のうえ，請求してください。

イ 請求先：〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学学生支援部学生生活支援課
電話：0985-58-7142

ウ 請求期限：平成30年1月5日（金）

③ 学生寄宿舍の概要

寄宿舍名	男子寄宿舍	女子寄宿舍	国際交流宿舍
収容定員	100人	100人	165人
募集人員	6人	6人	11人
入居資格	学部男子学生	学部女子学生	学部学生（男・女）
入居許可期間	1年間（平成30年4月～平成31年3月）※4年間を保証するものではありません。		
寄宿料	月額7,000円		月額4,700円
構造	鉄筋コンクリート5階建		鉄骨鉄筋コンクリート8階建
居室定員	1人（個室）		
居室面積	9㎡	9㎡	11㎡
共用施設	補食室（自炊可能），浴室，洗濯室，トイレ（国際交流宿舍は居室に設置）		
諸経費	光熱水費等 月額 8,000円程度		
所在地	〒889-2155 宮崎市学園木花台西1丁目1番地		

（注1）募集人員には，推薦入試合格者，AO入試合格者，帰国子女入試合格者，社会人入試合格者及び編入学試験合格者が含まれます。

（注2）在学中に寄宿料の改定が行われた場合は，改定時から新寄宿料が適用されます。

V. 入学手続に関する注意事項

(1) 推薦入試

- ①推薦入試の合格者は、推薦入試の趣旨からみて入学手続を行い入学するのが当然ですが、特別の事情があり、推薦を行った高等学校長が2月14日(水)17時までに「入学辞退願」を本学学長に提出し、その承認を得た場合に限りその入学辞退を認めます。
- ②上記①により入学辞退を承認された者は、国公立大学・学部の一般入試を受験することができます。
- ③推薦入試の合格者が、「入学辞退願」を提出して当該大学の入学の辞退を承認されない限り、他に出願済みの国公立大学・学部を受験しても、その国公立大学・学部の合格者とはなりません。

(2) AO入試

- ①AO入試の合格者は、AO入試の趣旨からみて入学手続を行い入学するのが当然ですが、特別の事情があり、合格者本人が2月14日(水)17時までに「入学辞退願」を本学学長に提出し、その承認を得た場合に限りその入学辞退を認めます。
- ②上記①により入学辞退を承認された者は、国公立大学・学部の一般入試を受験することができます。
- ③AO入試の合格者が、「入学辞退願」を提出して当該大学の入学の辞退を承認されない限り、他に出願済みの国公立大学・学部を受験しても、その国公立大学・学部の合格者とはなりません。

VI. 個人情報の取扱いについて

- (1) 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人宮崎大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。
- (2) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。
- (3) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
- (4) 上記(2)及び(3)の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より該当業務の委託を受けた業者において行うことがあります。
- (5) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、大学入試センターの受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報等に限り、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に通知されます。
- (6) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

VII. 入学試験成績の情報開示

本学では、入学試験の結果について、各試験単位（学科、課程、コース等）毎に入学試験実施状況をホームページ等に掲載し公表していますが、試験成績（得点・評価・順位）の個人情報については、受験者本人からの請求に基づいて下記の要領で開示しますので、希望があれば必要な手続きを行ってください。

記

1. 開示請求者

本学が実施した平成30年度入学試験を受験した者

2. 開示請求の方法

受験者本人が「宮崎大学入試情報開示願」に必要事項を記入し、「**本学受験票**」、「**開示通知用封筒（長形3号封筒に住所、氏名、郵便番号を明記し402円切手を貼ったもの）**」を学生支援部入試課に郵送又は持参してください。

※**受験票は必ず原本を提出してください。**コピーは認めません。受験票原本の提出がない者には、いかなる理由があっても情報開示を行いませんので、大切に保管しておいてください。

※「宮崎大学入試情報開示願」は、本学ホームページ（4月中旬に掲載予定）からダウンロードして使用してください。または、郵送（長形3号の返信用封筒に住所、氏名、郵便番号を明記し82円切手を貼ったものを封入）によるか来学により取り寄せてください。

3. 開示請求期間

平成30年5月7日（月）から同年6月1日（金）（必着）まで
（ただし、土曜日、日曜日及び祝日は除く。）

※ 5月18日（金）までの本学到着分は6月上旬頃に、それ以降の本学到着分は6月下旬頃に返送を予定しております。

4. 開示情報の内容

（1）大学入試センター試験の科目毎の素点
（大学入試センター試験を課す場合は、合否判定の基礎となった科目のみ）

（2）試験成績による順位

（3人以下の合格者及び不合格者については、開示しない。）

Aランク：合格者の中で上位1/2の者

Bランク：合格者の中で下位1/2の者

Cランク：不合格者の中で上位1/2の者

Dランク：不合格者の中で下位1/2の者

5. 開示の方法

開示請求者宛てに希望する開示情報を記載した資料を簡易書留にて郵送します。

入学試験情報の開示に関する問い合わせ

宮崎大学学生支援部入試課
（電話：0985-58-7138）

Ⅷ. 入学志願票の記入要領及び記入例

記入上の注意

- ・記入事項は、黒のボールペン（又はペン）で記入してください。
- ・「大学記入欄」は記入しないでください。

記入要領等（共通事項）

- (1) ①②氏名欄は、氏名を正確に記入し、フリガナはカタカナで記入してください。
 ※常用漢字で記入してください。（JIS漢字コードの第1・第2水準以外を含む場合、その文字が置き換えられることがあります。）
 【置き換えられる文字の例：高 → 高， 崎 → 崎， 桑 → 桑， 土 → 土など】
- (2) ⑥⑦連絡先の電話番号欄は、緊急連絡を必要とする場合、必ず志願者に連絡がとれるところ（出願時から合格者発表の日まで）を記入してください。携帯電話を所有している者は必ずその番号を記入してください。また、保護者の連絡先が異なる場合も必ず記入してください。
- (3) ⑧出願資格欄は、出身高等学校、卒業（見込）年月を記入し、該当する語句又は数字を○で囲んでください。高等学校等コードは、大学入試センター試験受験案内に掲載されている高等学校等コード表により記入してください。高等学校等コードが分からない者は本学学生支援部入試課へ必ず問い合せてください。
- (4) ⑨志望学部欄は、志望する学部の番号を、⑩志望学科・課程（コース・専攻）は、志望する学科・課程（コース・専攻）を○で囲んでください。
 なお、⑩志望学科・課程（コース・専攻）欄は下記に示した略称を用いていますので、誤りのないように注意してください。

教 育 学 部	医 学 部	農 学 部
(推薦入試) (略称) 学校教育課程 小中一貫教育コース小学校主免専攻 → 小主免 小中一貫教育コース中学校主免専攻(専門学科) (技術) → 中主免技術 (技術以外の教科) → 中主免他教科 教職実践基礎コース → 教職実践 発達支援教育コース子ども理解専攻 → 子ども理解 発達支援教育コース特別支援教育専攻 → 特別支援	(略称) 医学科(一般推薦) → 医(一般推薦) 看護学科 → 看護 工 学 部 (略称) 環境応用化学科 → 応用化学 社会環境応用工学科 → 社会環境 環境ロボティクス学科 → 環境ロボ 機械設計応用工学科 → 機械設計 電子物理工学科 → 電子物理 電気システム工学科 → 電気システム 情報システム工学科 → 情報システム	(略称) 植物生産環境科学科 → 植物生産 森林緑地環境科学科 → 森林緑地 応用生物科学科 → 応用生物 海洋生物環境科学科 → 海洋生物 畜産草地科学科 → 畜産草地 地域資源創成学部 地域資源創成科学科 (略称) 普通科あるいはこれに準ずる学科 → 地域資源(普通) 職業教育を主とする専門学科 又は総合科学科 → 地域資源(専門)
(AO入試) 学校教育課程 小中一貫教育コース中学校主免専攻 (音楽) → 中主免音楽 (美術) → 中主免美術 (保健体育) → 中主免保体 (家庭) → 中主免家庭 (英語) → 中主免英語		

- (5) 大学入試センター試験を課さない推薦入試、大学入試センター試験を課す推薦入試及びAO入試で志願票の事項が異なる場合がありますので、次ページにそれぞれの注意点を記載します。

(I) センター試験を課さない推薦入試

- (1) ⑧出願資格欄は、志望学部が農学部の場合、学科の欄が「6」に該当する者は右欄の「ア」を、「2」～「5」及び「7」に該当する者は右欄の「イ」について記入してください。
記入する際には、該当する学科を担当の先生に確認してください。

※高等学校の先生方へ（生徒が農学部を志望する場合）

貴高校の学科が、2～5及び7の学科に該当する場合（高等学校設置基準で規定された「専門教育を主とする学科」の場合）、高等学校設置基準第6条第2項に規定する学科（第一号から第十五号）の中から、貴高校が設置認可を受けた学科の番号（漢数字）を選択し、入学志願票の「イ」の欄に記入するよう、生徒に指導をお願いします。
（高等学校設置基準は下記の別表1を参照してください。）

◎「記入例」は、次の者を志願者として例示しています。

- | | | |
|---------------------|-------|--------------|
| (1) 推薦入試志願者 | | 宮崎太郎 |
| (2) 性別 | | 男 |
| (3) 卒業・卒業見込み年月 | | 平成30年3月卒業見込み |
| (4) 志望学部 | | 農学部 |
| (5) 志望学科・課程（コース・専攻） | | 植物生産環境科学科 |

- (2) 教育学部学校教育課程小中一貫教育コース中学校主免専攻（専門学科枠）に出願する者で、技術以外の教科（中主免他教科）に出願する者は、⑩志望学科・課程欄の下欄に出願する教科を記入してください。

別表1

参考：高等学校設置基準（最終改正 平成19年12月25日文部科学省令第40号）より抜粋

（学科の種類）

第六条 略

2 前条第二号に定める学科は、次に掲げるとおりとする。

- | | |
|------------|--|
| 一 農業に関する学科 | 九 理数に関する学科 |
| 二 工業に関する学科 | 十 体育に関する学科 |
| 三 商業に関する学科 | 十一 音楽に関する学科 |
| 四 水産に関する学科 | 十二 美術に関する学科 |
| 五 家庭に関する学科 | 十三 外国語に関する学科 |
| 六 看護に関する学科 | 十四 国際関係に関する学科 |
| 七 情報に関する学科 | 十五 その他専門教育を施す学科として適当な規模及び内容があると認められる学科 |
| 八 福祉に関する学科 | |

3 略

(Ⅱ) センター試験を課す推薦入試

(1) ⑫平成30大学入試センター試験成績請求票貼付欄は、所定の欄に「**推薦平成30センター試験成績請求票(国公立推薦入試用)**」を貼付することとされていますが、出願期間が各学部で異なりますので、以下に注意してください。

①教育学部、工学部を志望する場合

出願時に貼付してください。出願時に貼付できない場合は必ず電話で学生支援部入試課(0985-58-7138)に連絡してください。

②医学部を志望する場合

大学入試センターからの受験票等の発送は本学の出願受付締切後(12月上旬～中旬予定)になることから、**受験票送付時に併せて「成績請求票貼付台紙」を送付しますので、それに貼付し、12月19日(火)までに宮崎大学入試課へ到着するよう簡易書留速達で郵送してください。**

期日までに送付できない場合は必ず電話で学生支援部入試課(0985-58-7138)に連絡してください。

(2) ⑬大学入試センター試験受験教科・科目の確認は、志願票裏面の確認欄で志望学部学科・課程(コース・専攻)の指定された教科・科目を確認し、指定された大学入試センター試験の教科・科目を**すべて受験する予定であれば「はい」を○で囲んでください。**

なお、志望する学科・課程(コース・専攻)が指定した受験教科・科目をすべて受験する予定でない場合(「いいえ」を○で囲んだ者)は、当該学科・課程(コース・専攻)の合格者となりません。

◎「記入例」は、次の者を志願者として例示しています。

- (1) 推薦入試志願者 宮崎太郎
- (2) 性別 男
- (3) 卒業・卒業見込み年月 平成30年3月卒業見込み
- (4) 志望学部 教育学部
- (5) 志望学科・課程(コース・専攻) 学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻

(Ⅲ) AO入試

(1) 第1次選考合格者にあつては、所定の欄に「**AO平成30センター試験成績請求票(国公立AO入試用)**」を貼付することとされていますが、大学入試センターからの受験票等の発送は本学の出願受付締切後(12月上旬～中旬予定)になることから、**第1次選考の合格通知書と併せて「成績請求票貼付台紙」を送付しますので、それに貼付し、12月19日(火)までに宮崎大学入試課へ到着するよう簡易書留速達で郵送してください。**

なお、期日までに送付できない場合は本学学生支援部入試課(0985-58-7138)に連絡してください。

(2) ⑭大学入試センター試験受験教科・科目の確認は、志願票裏面の確認欄で志望学部・課程(コース・専攻)の指定された教科・科目を確認し、指定された大学入試センター試験の教科・科目を**すべて受験する予定であれば「はい」を○で囲んでください。**

なお、志望する学科・課程(コース・専攻)が指定した受験教科・科目をすべて受験する予定でない場合(「いいえ」を○で囲んだ者)は、当該学科・課程(コース・専攻)の合格者となりません。

◎「記入例」は、次の者を志願者として例示しています。

- (1) AO入試志願者 宮崎太郎
- (2) 性別 男
- (3) 卒業・卒業見込み年月 平成30年3月卒業見込み
- (4) 志望学部 教育学部
- (5) 志望学科・課程(コース・専攻) 学校教育課程小中一貫教育コース中学校主免専攻(美術)

[センター試験を課さない推薦入試 記入要領]

記入上の注意

- ・記入事項は、黒のボールペン（又はペン）で記入してください。
- ・「大学記入欄」は記入しないでください。

氏名を記入し、フリガナはカタカナで記入してください。常用漢字で記入してください。（JIS漢字コードの第1・第2水準以外を含む場合、その文字が置き換えられることがあります。）

緊急連絡を必要とする場合に必ず志願者に連絡が取れる番号を記入してください。携帯電話を所有している者は必ずその番号を記入してください。また、保護者の連絡先が異なる場合も必ず記入してください。

出願資格欄は、出身高等学校、卒業（見込）年月を記入し、該当する語句又は数字を○で囲んでください。高等学校コードは大学入試センター試験受験案内に記載されている高等学校等コード表により記入してください。志望学部が農学部の場合、学科の欄が「6」に該当する者は右欄の「ア」を、「2」～「5」及び「7」に該当する者は右欄の「イ」について記入してください。記入する際には、該当する学科を担当の先生に確認してください。

志望する学部、学科・課程（コース・専攻）の番号を○で囲んでください。出願書類受付後の変更は認めませんので、十分注意してください。なお、ここに記載されている学科・課程（コース・専攻）は略称を用いています。本要項45ページを参照してください。

センター試験を課さない推薦入試用												(大学記入欄)								
平成30年度 宮崎大学入学志願票（推薦入試）																				
①フリガナ		ミヤザキ タロウ				③性別		④生年月日												
②氏名		宮崎 太郎				① 男 2. 女		⑩. 平成		1	1	年	0	6	月	1	3	日		
⑤現住所		〒889-2192 宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地																		
電話番号		⑥(本人)		(0985) - (58) - (xxxx)		携帯 (090) - (1234) - (xxxx)														
		⑦(保護者)		(0985) - (85) - (xxxx)		携帯 (090) - (4321) - (xxxx)														
⑧出願資格		高等学校等コード		4	5	3	0	1	A	都 道 国立		宮崎 府 県 私立		卒業 (見込)		平成 30年 3月		卒業見込み その他 ()		
課程		全日制		1. 普通科 2. 理数科 3. 農業科 4. 工業科 5. 商業科 6. 総合学科 7. 「1」から「6」以外の学科		農学部を志望する者のみ以下に記入してください。 ア 左欄の6の学科に該当する場合は、次の1)、2)のいずれかを○で囲んでください。 1) 農業に関連のある学科（農業に関連のある科目を25単位以上履修している者） 2) 上記「1)」以外の学科 イ 左欄の2～5及び7の学科に該当する場合は、募集要項34ページ別表1に記載している学科の中から該当する学科の番号を記入してください。														
		定時制 通信制				該当する学科の番号: _____														
⑨志望学部		1 教育学部		2 医学部		3 工学部				④ 農学部				5 地域資源創成学部						
⑩志望学科・課程 (コース・専攻)		23	24	30	50	22	31	32	33	34	35	36	37	⑪ 42	43	44	45	51	52	
		中主免技術	中主免他教科	教職実践	特別支援	看護	応用化学	社会環境	環境ロボ	機械設計	電子物理	電気システム	情報システム	植物生産	森林緑地	応用生物	海洋生物	畜産草地	地域資源 (普通)	地域資源 (専門)
※出願する教科 (中主免他教科に出願する者のみ)																				
⑪センター試験		③ 課さない推薦												調査書(大学記入欄)						

[センター試験を課す推薦入試 記入要領]

記入上の注意

- ・記入事項は、黒のボールペン（又はペン）で記入してください。
- ・「大学記入欄」は記入しないでください。

氏名を記入し、フリガナはカタカナで記入してください。常用漢字で記入してください。(JIS漢字コードの第1・第2水準以外を含む場合、その文字が置き換えられることがあります。)

緊急連絡を必要とする場合に必ず志願者に連絡が取れる番号を記入してください。携帯電話を所有している者は必ずその番号を記入してください。また、保護者の連絡先が異なる場合も必ず記入してください。

出願資格欄は、出身高等学校、卒業（見込）年月を記入し、該当する語句又は数字を○で囲んでください。高等学校コードは大学入試センター試験受験案内に記載されている高等学校等コード表により記入してください。

志望する学部、学科・課程（コース・専攻）の番号を○で囲んでください。出願書類受付後の変更は認めませんので、十分注意してください。本学工学部のセンター試験を課さない推薦入試で不合格となった場合は、センター試験を課す推薦入試において、本学の同一学部・同一学科へのみの出願ができます。なお、ここに記載されている学科・課程（コース・専攻）は略称を用いています。本要項45ページを参照してください。

成績請求票の貼付については、以下に注意してください。

①教育学部、工学部
出願時に貼付してください。

②医学部
大学入試センターからの受験票等の発送は本学の出願受付締切後になることから、受験票送付時に併せて「成績請求票貼付台紙」を送付しますので、それに貼付し、12月19日(火)までに宮崎大学入試課へ到着するよう簡易書留速達で郵送してください。

なお、期日までに送付又は出願時に貼付できない場合は必ず電話で学生支援部入試課(0985-58-7138)に連絡してください。

センター試験を課す推薦入試用					(大学記入欄)	
平成30年度 宮崎大学入学志願票 (推薦入試)						
①フリガナ	ミヤザキ タロウ			③性別	④生年月日	
②氏名	宮崎 太郎			① 男 ② 女	⑩. 平成	1 1 年 0 6 月 1 3 日
⑤現住所	〒889-2192 宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地					
電話番号	⑥(本人)	(0985) - (58) - (XXXX) 携帯 (090) - (1234) - (XXXX)				
	⑦(保護者)	(0985) - (85) - (XXXX) 携帯 (090) - (4321) - (XXXX)				
⑧出願資格	高等学校等コード	4	5	3	0	1 A
	都道府県	宮崎	都	道	国立	公立
	学校種別	府	県	私立	高等学校	卒業
課程	① 全日制 ② 定時制 ③ 通信制	① 普通科 ② 理数科 ③ 農業科 ④ 工業科 ⑤ 商業科 ⑥ 総合学科 ⑦ 「1」から「6」以外の学科	0000	平成 30 年 3 月	卒業見込み その他 ()	
⑨志望学部	① 教育学部 ⑩ 医学部 ⑪ 工学部	2	3	⑫平成30大学入試センター試験成績請求票貼付欄		
⑩志望学科・課程	小主免 子ども理解	40 21	35 36 37	※①教育学部、工学部を志望する者 出願時に貼り付けてください。 ※②医学部を志望する者 受験票と併せて送付する「成績請求票貼付台紙」に貼付し、 12月19日(火)までに簡易書留速達で郵送してください。		
⑪センター試験				④ 課す推薦	推 平成30センター試験成績請求票 国公立推薦入試用 200011 - 1001X - 1 (ミヤザキ タロウ)	
⑬大学入試センター試験受験教科・科目の確認※				志望する各学部、学科・課程（コース・専攻）が指定した大学入試センター試験受験教科・科目をすべて受験予定		
※裏面「大学入試センター試験受験教科・科目の確認欄」で必ずチェックしてください。				志望する各学部・学科課程（コース・専攻）が指定した受験教科・科目をすべて受験していない場合は、当該学部・学科課程（コース・専攻）の合格者となりませんので、十分注意してください。		
				どちらかに○印		
				はい		
				いいえ		
				調査書(大学記入欄)		

志願票裏面の「大学入試センター試験受験教科・科目の確認欄」で必ず確認し、志望する学部・課程（コース・専攻）の指定した受験教科・科目すべてを受験する予定であることが確認（志望する学部・課程（コース・専攻）の確認欄全てに○が付く等）できたら、「はい」を○で囲んでください。なお、志望する学部・課程（コース・専攻）が指定した受験教科・科目をすべてを受験する予定でない場合（「いいえ」を○で囲んだ者）は、当該学科課程（コース・専攻）の合格者となりません。

〔AO入試 記入要領〕

記入上の注意

- ・記入事項は、黒のボールペン（又はペン）で記入してください。
- ・「大学記入欄」は記入しないでください。

氏名を記入し、フリガナはカタカナで記入してください。
常用漢字で記入してください。
(JIS漢字コードの第1・第2水準以外を含む場合、その文字が置き換えられることがあります。)

緊急連絡を必要とする場合に必ず志願者に連絡が取れる番号を記入してください。携帯電話を所有している者は必ずその番号を記入してください。
また、保護者の連絡先が異なる場合も必ず記入してください。

出願資格欄は、出身高等学校、卒業（見込）年月を記入し、該当する語句又は数字を○で囲んでください。
高等学校コードは大学入試センター試験受験案内に記載されている高等学校等コード表により記入してください。

志望する学部、学科・課程（コース・専攻）の番号を○で囲んでください。出願書類受付後の変更は認めませんので、十分注意してください。
なお、ここに記載されている学科・課程（コース・専攻）は略称を用いています。本要項45ページを参照してください。

成績請求票の貼付については、以下に注意してください。

大学入試センターからの受験票等の発送は本学の出願受付締切後及び第1次選考合格発表後になりますので、第1次選考合格者においては、第1次選考の合格通知書と併せて「成績請求票貼付台紙」を送付しますので、それに貼付し、12月19日(火)までに宮崎大学入試課へ到着するよう簡易書留速達で郵送してください。

なお、期日までに送付できない場合は必ず電話で学生支援部入試課(0985-58-7138)に連絡してください。

AO入試用		(大学記入欄)
平成30年度 宮崎大学入学志願票 (AO入試)		
①フリガナ	ミヤザキ タロウ	③性別
②氏名	宮崎 太郎	④生年月日
		① 男 2. 女
		⑩. 平成 1 1 年 0 6 月 1 3 日
⑤現住所	〒889-2192 宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地	
電話番号	⑥(本人)	(0985) - (58) - (××××) 携帯 (090) - (1234) - (××××)
	⑦(保護者)	(0985) - (85) - (××××) 携帯 (090) - (4321) - (××××)
⑧出願資格	高等学校等コード 4 5 3 0 1 A 都 道 国立 宮崎 府 県 私立 学校 宮崎 公立 〇〇〇〇 平成 30 年 3 月 卒業 卒業見込み 府 県 私立 学校 卒業 卒業見込み その他 ()	⑨志望学部 ① 教育学部 ⑩志望学科・課程 (コース・専攻) 25 中主免音楽 26 中主免美術 27 中主免保体 28 中主免家庭 29 中主免英語
⑪センター試験	⑤ AO入試	⑫平成30大学入試センター試験成績請求票貼付欄
⑬大学入試センター試験受験教科・科目の確認※		(大学使用欄) ※第1次選考の合格通知書と併せて送付する「成績請求票貼付台紙」に貼付し、12月19日(火)までに簡易書留速達で郵送してください。 AO 平成30センター試験成績請求票 国公立AO入試用 200011 - 1001X - 1 (ミヤザキ タロウ)
志望する各学部、学科・課程（コース・専攻）が指定した大学入試センター試験受験教科・科目をすべて受験予定		はい (○) ・ いいえ (○) どちらかに○印
※裏面「大学入試センター試験受験教科・科目の確認欄」で必ずチェックしてください。 志望する各学部、学科・課程（コース・専攻）が指定した受験教科・科目をすべて受験していない場合は、当該学部、学科・課程（コース・専攻）の合格者となりませんので、十分注意してください。		
調査書(大学記入欄)		

志願票裏面の「大学入試センター試験受験教科・科目の確認欄」で必ず確認し、志望する学部・課程（コース・専攻）の指定した受験教科・科目すべてを受験する予定であることが確認（志望する学部・課程（コース・専攻）の確認欄全てに○が付く等）できたら、「はい」を○で囲んでください。
なお、志望する学部・課程（コース・専攻）が指定した受験教科・科目をすべて受験する予定でない場合（「いいえ」を○で囲んだ者）は、当該学部・課程（コース・専攻）の合格者となりません。

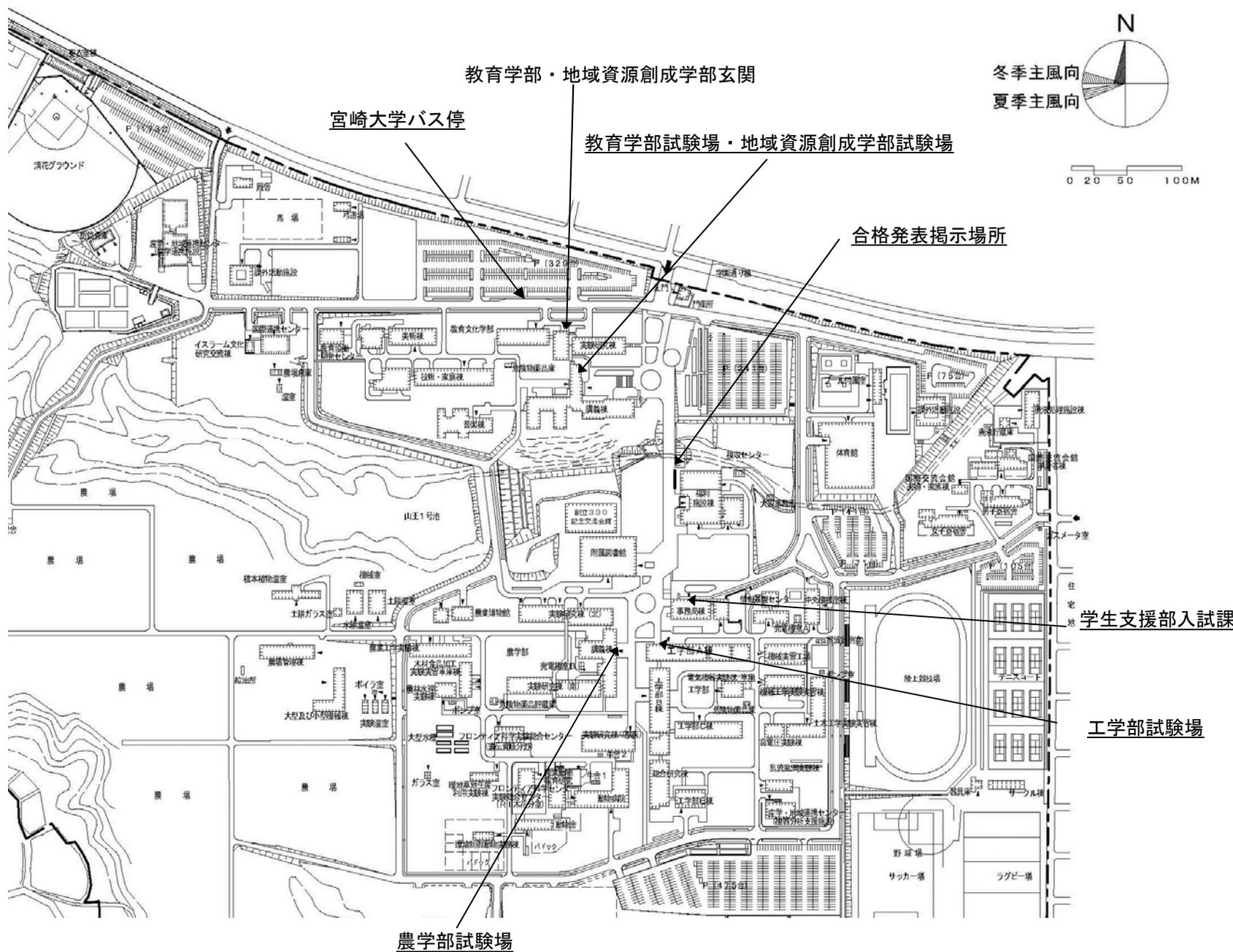
Ⅸ. 統計資料

平成29年度 宮崎大学入学試験実施状況

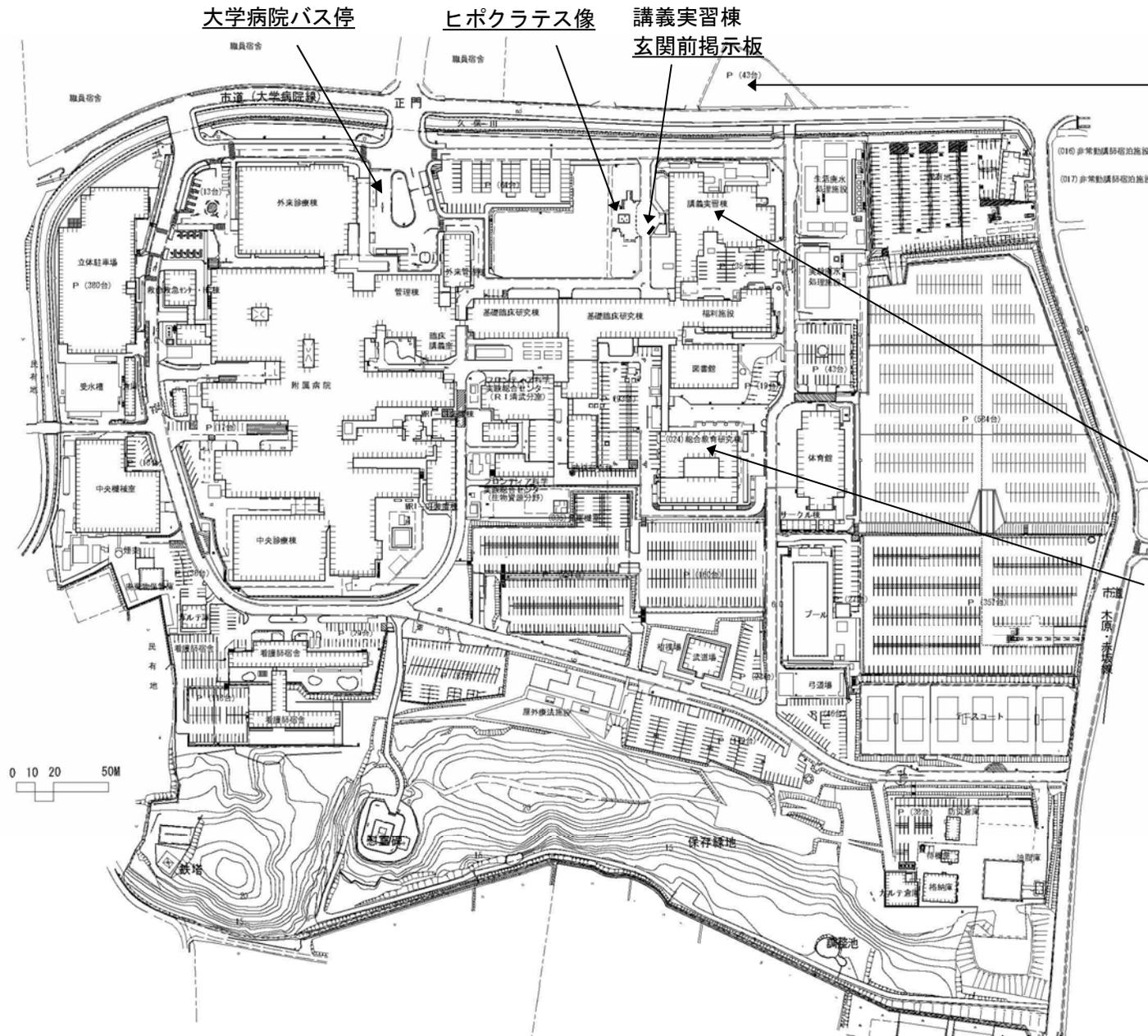
学部	学科・課程(コース)専攻	定員	日程等	募集人員	志願者		受験者	合格者※1					入学者	左記以外の入学者※2	入学者合計					
					人員	倍率		合格者	満点	最高点	最低点	平均点			男	女	合計			
教育学部	小学校主免 2/3型入試 理系入試 小論文型入試	50	前期	20	87	4.4	71	23	1,100	779	637	686	20	20	31	51				
			後期	8	16	2.0	13	9	1,300		763	9								
			推薦	10	174	17.4	45	15	1,200	954	811	859	10							
			AO	12	37	3.1	37	12	1,100			12								
		中学校主免 2/3型入試 理系入試 小論文型入試	40	前期	10	30	3.0	29	15	1,100	812	664	702				13	29	15	44
				後期	10	20	2.0	19	12	1,300		786	11							
				推薦	5	74	14.8	28	8	1,200			892				8			
				AO	2	2	1.0	2	2	1,300			2							
				AO	2	4	2.0	4	2	1,300			2							
				AO	4	7	1.8	7	4	1,300			4							
	音楽 美術 保健体育 技術 家庭 英語 技術以外の教科	10	前期	2	2	1.0	2	2	1,300			2	2	15	44					
			後期	2	0	0.0	0	0	1,300			0								
			推薦	1	2	2.0	2	1	200			1								
	教職実践基礎コース	10	前期	5	32	6.4	31	7	1,100			686	5	8	2	10				
			推薦	5	19	3.8	19	5	200			5								
	発達支援 教育コース 子ども理解専攻 特別支援教育専攻	10	前期	7	44	6.3	38	8	1,400			908	7	2	8	10				
			推薦	3	15	5.0	15	3	1,300			3								
	小計(教育学部)	120	前期	7	31	4.4	28	8	1,400			794	8	3	8	11				
			推薦	3	13	4.3	13	3	200			3								
	医学部	医学科	110	前期	67	260	3.9	229	82				73	63	47	110				
				後期	15	248	16.5	73	23				18							
				推薦	26	88	3.4	88	26				26							
		看護学科	60	前期	12	14	1.2	14	9				9	2	58	60				
後期				50	393	7.9	256	67	1,500	1,254	1,124	1,160	66							
推薦				20	364	18.2	68	20	1,200	1,053	994	1,012	20							
小計(医学部)		170	前期	40	105	2.6	105	24	900			24	65	105	170					
			後期	35	113	3.2	108	36	1,100	885	750	794				35				
工学部		環境応用化学科	58	前期	10	166	16.6	55	14	1,100			774	40	18	58				
				後期	15	56	3.7	56	15	200			15							
	推薦			85	506	6.0	364	103				101								
	社会環境システム工学科	53	前期	30	530	17.7	123	34				30	51	4	55					
			後期	55	161	2.9	161	39				39								
			推薦	34	75	2.2	71	42	1,500	1,019	851	913				34				
	環境ロボティクス学科	49	前期	12	13	1.1	13	11	500			11	1	47	50					
			後期	33	72	2.2	66	36	1,500	1,028	827	892				35				
			推薦	10	201	20.1	75	15	1,200	884	810	840				10				
	機械設計システム工学科	54	前期	10	22	2.2	22	10	500			10	51	3	54					
後期			29	68	2.3	66	31	1,500	955	841	887	29								
推薦			10	108	10.8	38	18	1,200	939	769	811	10								
電子物理工学科	53	前期	10	25	2.5	25	10	500			10	1	51	54						
		後期	32	100	3.1	94	36	1,500	1,006	880	919				32					
		推薦	11	22	2.0	22	11	500			11									
電気システム工学科	49	前期	31	69	2.2	64	39	1,500	1,117	816	894	31	48	1	49					
		後期	10	164	16.4	57	23	1,200	913	761	821	14								
		推薦	12	17	1.4	17	8	500			8									
情報システム工学科	54	前期	29	48	1.7	42	33	1,500	1,000	817	860	29	2	51	56					
		後期	10	147	14.7	51	17	1,200	890	769	816	10								
		推薦	10	14	1.4	14	10	500			10									
小計(工学部)	370	前期	32	90	2.8	78	38	1,500	1,022	859	919	32	4	339	376					
		後期	11	236	21.5	79	17	1,200	942	793	841	11								
農学部	植物生産環境科学科	52	前期	11	21	1.9	21	11	500			11	2	34	23	57				
			後期	220	522	2.4	481	255				222								
			推薦	74	1,265	17.1	425	129				79								
	森林緑地環境科学科	52	前期	76	134	1.8	134	71				71	4	38	17	55				
			後期	28	71	2.5	69	32	1,100	883	692	745					30			
			推薦	14	126	9.0	37	19	1,200	971	746	825					12			
	応用生物科学科	57	前期	10	33	3.3	33	10	400			10	2	17	16	33				
			後期	31	76	2.5	72	33	1,200	879	720	774					31			
			推薦	11	123	11.2	49	14	1,400			931					11			
	海洋生物環境学科	33	前期	10	14	1.4	14	9	400			9	2	17	16	33				
後期			34	92	2.7	90	39	1,050	839	698	741	32								
推薦			12	93	7.8	44	24	1,350	1,111	976	1,025	12								
畜産草地球科学科	61	前期	11	17	1.5	17	11	300			11	1	18	45	63					
		後期	18	40	2.2	40	19	800	579	496	529					17				
		推薦	11	78	7.1	37	15	1,200	960	749	827					11				
獣医学科	30	前期	4	7	1.8	7	3	400			3	13	19	32						
		後期	36	93	2.6	92	39	1,100	875	691	733				37					
		推薦	15	133	8.9	51	18	1,200	912	741	807				15					
小計(農学部)	285	前期	10	27	2.7	27	10	300			10	11	144	150	294					
		後期	20	118	5.9	108	22	1,300	1,135	1,041	1,077					22				
創域学資源	地域資源創成学科	90	前期	10	186	18.6	106	10	1,200			1,033	52	46	98					
			後期	167	490	2.9	471	184				169								
			推薦	73	739	10.1	324	100				71								
	小計(地域資源創成学部)	90	前期	45	98	2.2	98	43				43	52	46	98					
			後期	55	112	2.0	104	62	1,200	891	651	718				58				
			推薦	20	174	8.7	63	29	1,200	914	725	781				25				
	合計(全学)	1,035	前期	15	46	3.1	46	15				15	15	662	402	1,064				
			後期	55	112	2.0	104	62				58								
	合計(全学)	1,035	前期	20	174	8.7	63	29				25	15	662	402	1,064				
			後期	15	46	3.1	46	15				15								
推薦			594	1,890	3.2	1,649	686				623									
AO			212	2,956	13.9	1,008	315				223									
合計			217	527	2.4	527	194				194									
合計	12	14	1.2	14	9				9											
合計	1,035	5,387	5.2	3,198	1,204				1,049											

※1・推薦及びAOについては、最高点、最低点及び平均点は非公開。また、前期日程及び後期日程については、合格者数が15名未満の場合、最高点及び最低点は非公開。
 ・教育学部小学校主免専攻2/3型入試(前期)、小論文型入試(後期)及び中学校主免専攻2/3型入試(前期)の最高点、最低点、平均点、及び小学校主免専攻理系入試(前期)、中学校主免専攻理系入試(前期)、小論文型入試(後期)及び教職実践基礎コース(前期)の平均点には、第2志望合格者の得点を含む。
 ・工学部全学科(前期・後期)の最高点、最低点及び平均点には、第2志望合格者の得点を含む。
 ・農学部畜産草地球科学科(前期)の最高点、最低点及び平均点には、第2志望合格者の得点を含めない。
 ・最低点及び平均点については、追加合格者を除いて算出。
 ※2は、「帰国子女等入試」「社会人入試」「私費外国人留学生入試」及び「グローバル人材育成入試」により入学した人数
 ※志願者には第2志望学科の志願者を含めない。合格者・入学者には第2志望学科での合格者・入学者を含む。
 ※医学部医学科の受験者には第1段階選抜不合格者を含めない。

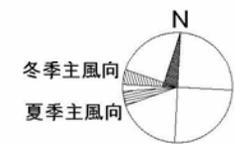
宮崎大学（木花キャンパス）入学試験場



宮崎大学（清武キャンパス）入学試験場

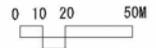


※清武キャンパスの駐車場は
ゲート化され、有料となっています。受験の際、車でお越しの場合は、こちらの駐車場
をご利用下さい。



医学部試験場（医学科）
（12月26日実施）

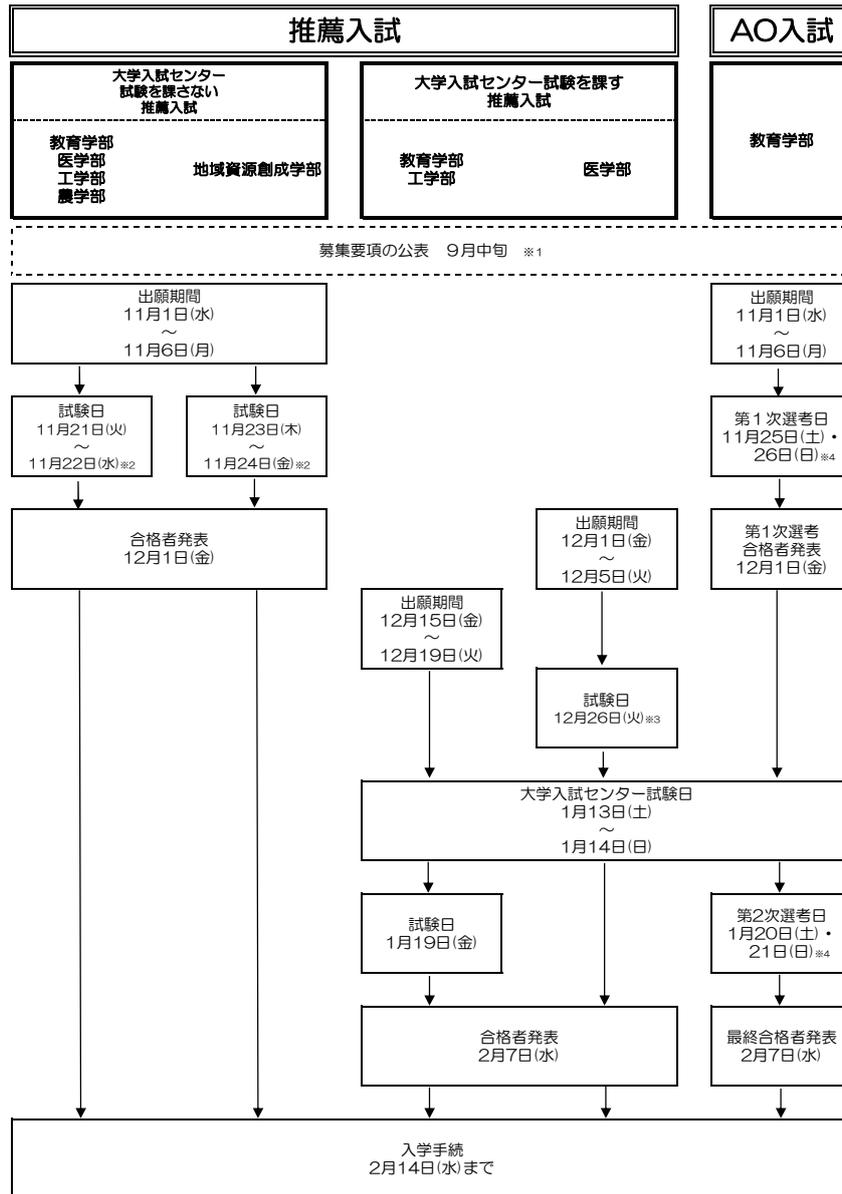
医学部試験場（看護学科）
（11月21日実施）



各種問い合わせ先

入 入 授 授 奨 学	試 学 業 業 生	全 手 納 免 宿	般 続 入 除 金 舎	<ul style="list-style-type: none"> ・・・学生支援部入試課 (電話 0985-58-7138) ・・・学生支援部教育支援課 (電話 0985-58-7427) ・・・財務部財務課 (電話 0985-58-7122) ・・・学生支援部学生生活支援課 (電話 0985-58-7976) ・・・学生支援部学生生活支援課 (電話 0985-58-7140) ・・・学生支援部学生生活支援課 (電話 0985-58-7142)
----------------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------------	--

入学者選抜試験日程 (平成29年11月～平成30年2月)



※1 推薦入試、医学部医学科地域枠・地域特別枠推薦入試の募集要項はそれぞれ別冊子です。
 ※2 推薦入試(大学入試センター試験を課さない)については、受験者数によっては11月21日(火)又は11月23日(木)の1日で終了する場合があります。
 ※3 医学部医学科地域枠・地域特別枠推薦入試については第2次選考日です。
 ※4 教育学部のAO入試は、出願状況により試験日が確定します。いずれかの1日、又は2日間での実施となります。

宮崎大学の入試に関するお問い合わせは

〒889-2192
 宮崎市学園木花台西1丁目1番地 宮崎大学学生支援部入試課
 電話 0985-58-7138
 ホームページ <http://www.miyazaki-u.ac.jp/>